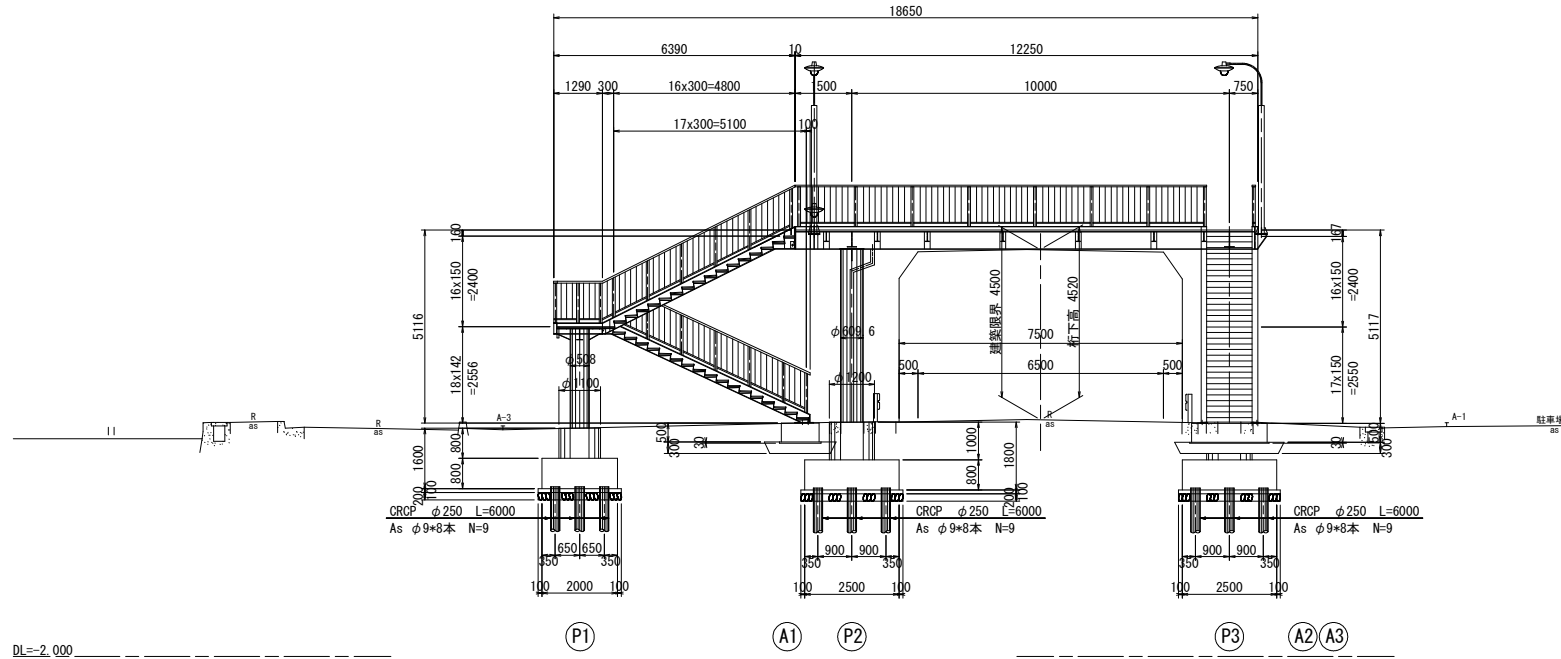


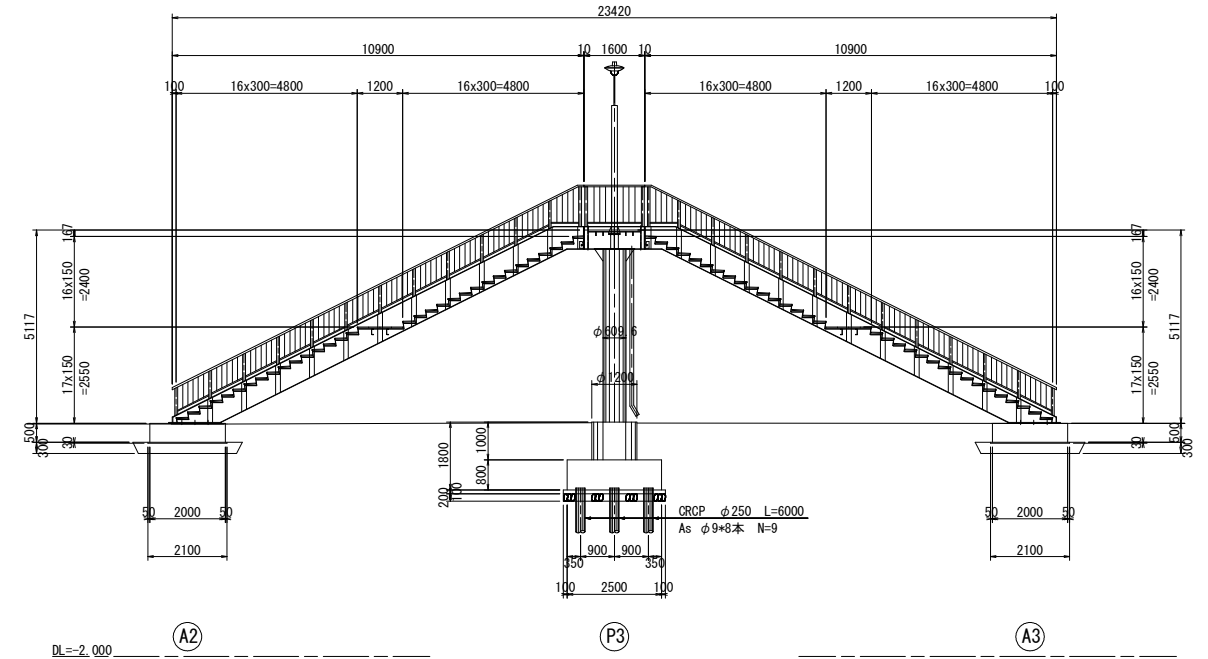
藍住町横断歩道橋 現橋一般図 S=1:100

側面図(1-1)



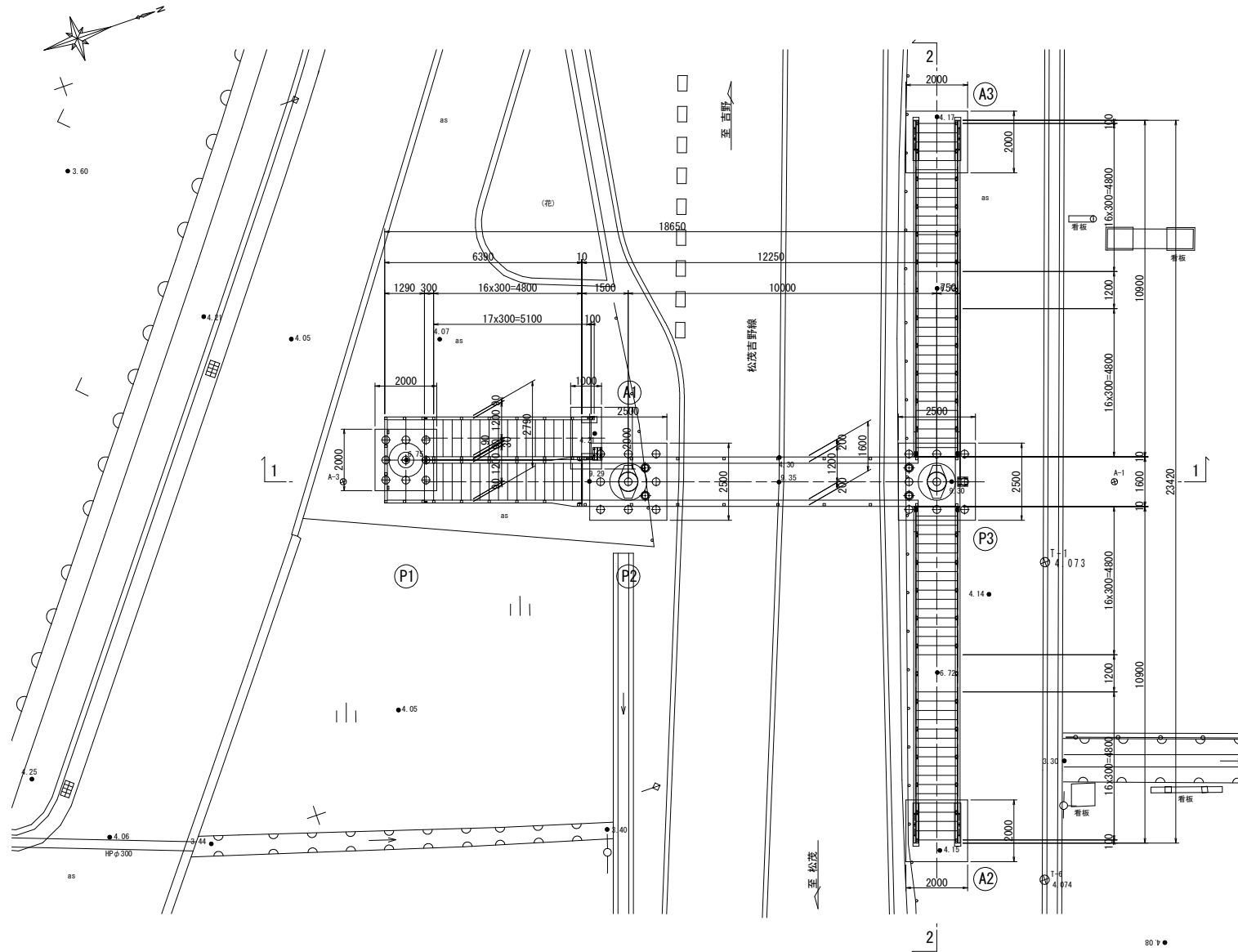
DL=-2.000

側面図(2-2)

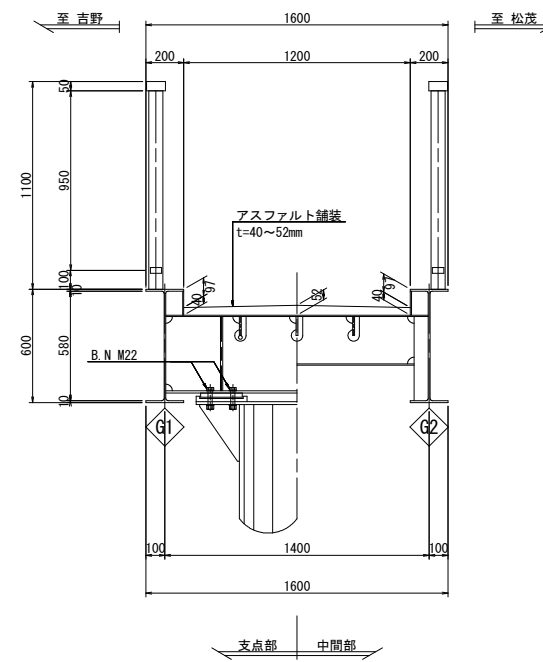


DL=-2.000

平面図



横断部断面図 S=1:20



藍住町横断歩道橋概要	
歩道橋種別	歩行者専用歩道橋
橋長	47.600 m
最大支間長	10.000 m
径間数	5
幅員	1.200 m
桁下高	4.520 m
昇降形式	階段式
上部工形式	桁橋1桁
下部工形式	柱橋脚鋼製
基礎形式	CRCP杭 $\phi 250$ L=6000
完成年次	下部工:昭和44年3月 上部工:昭和57年12月

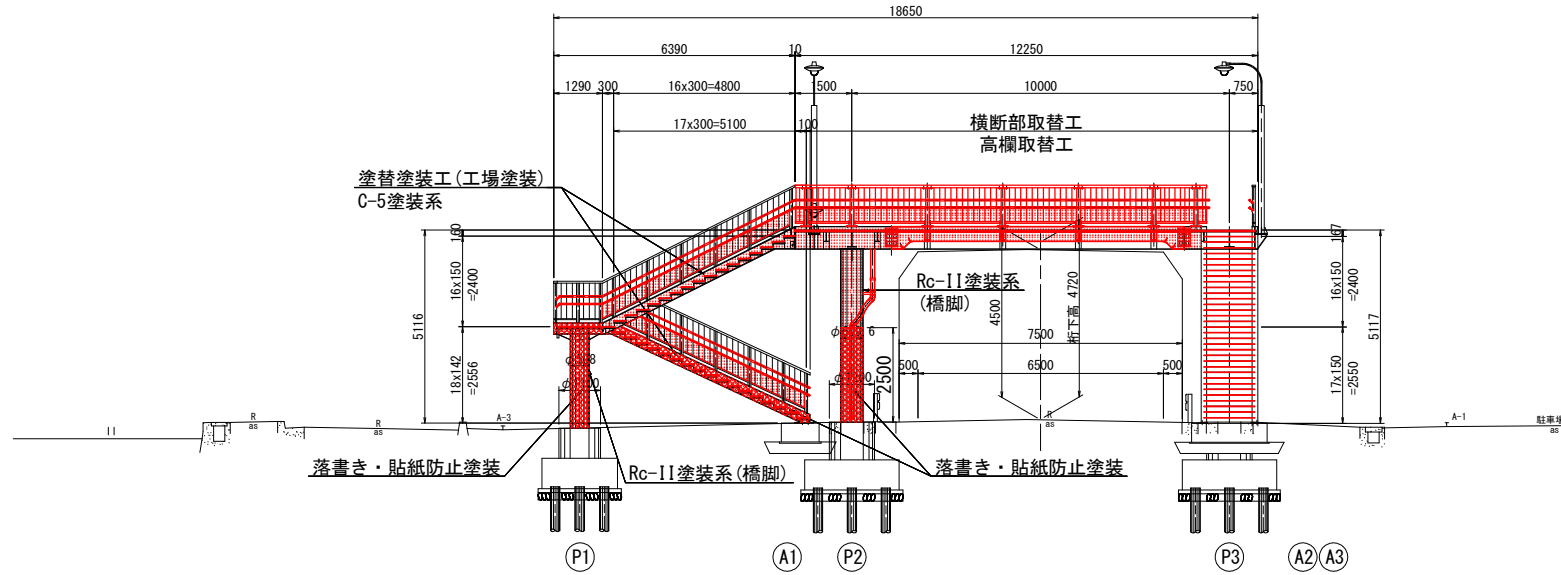
注記) 上部工の完成年次は架替えを行った年次を示す。

実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 現橋一般図
縮尺	S=1:100 図面番号 1 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

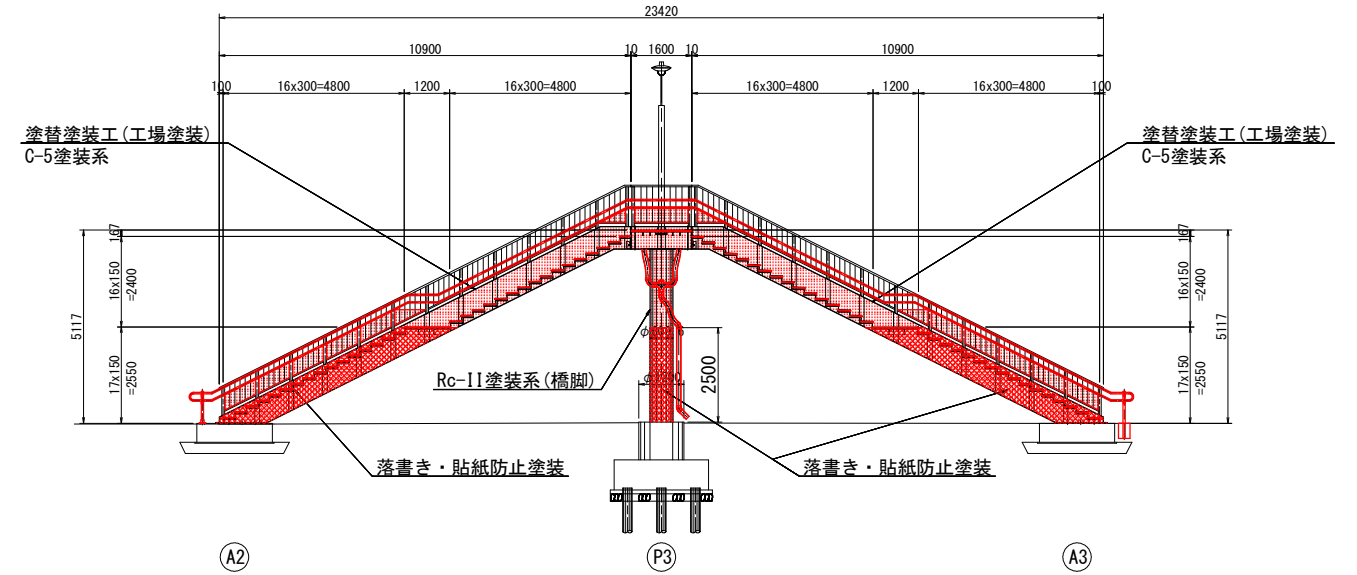
藍住町横断歩道橋 補修計画一般図 S=1:100

側面図(1-1)



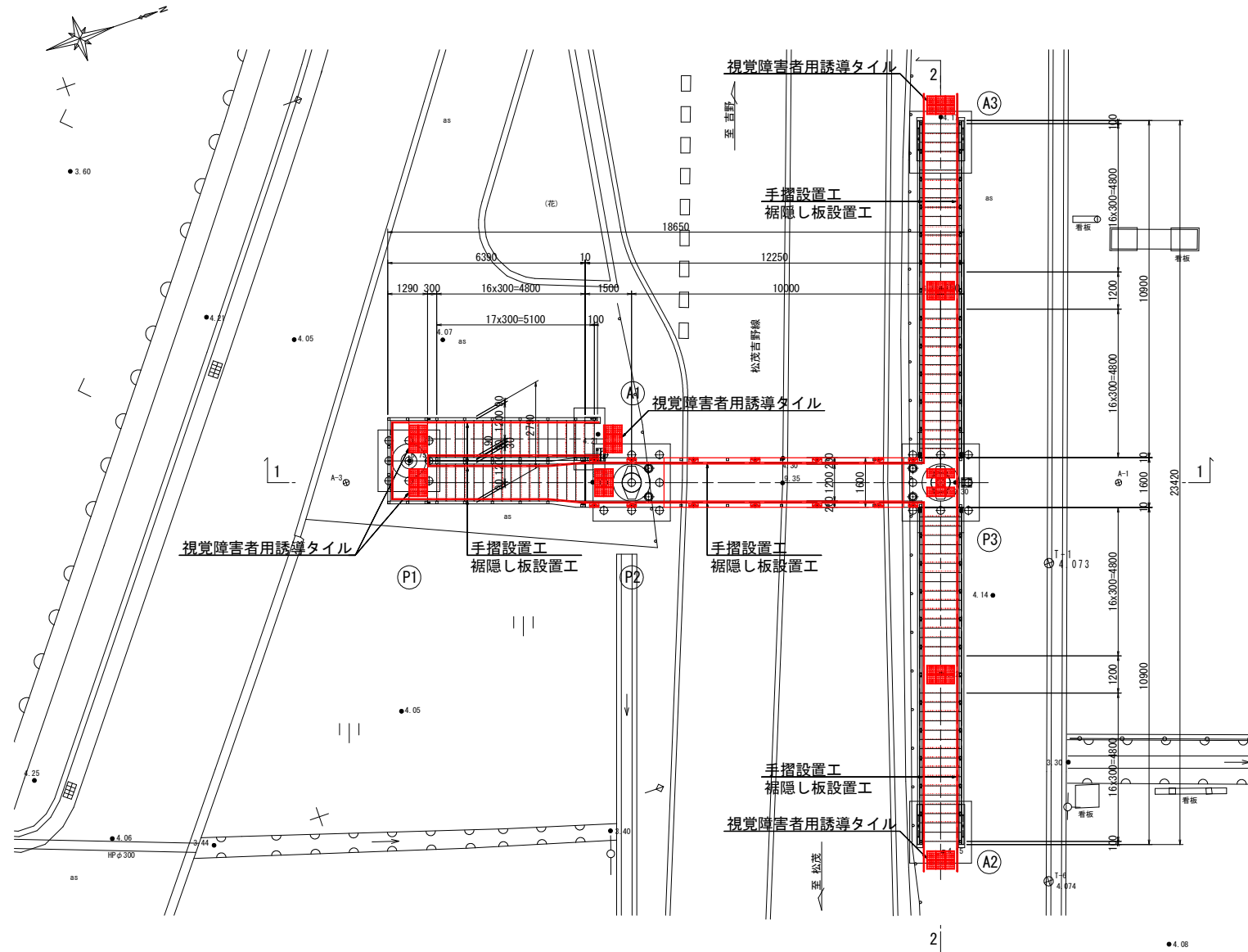
DL=2.000

側面図(2-2)

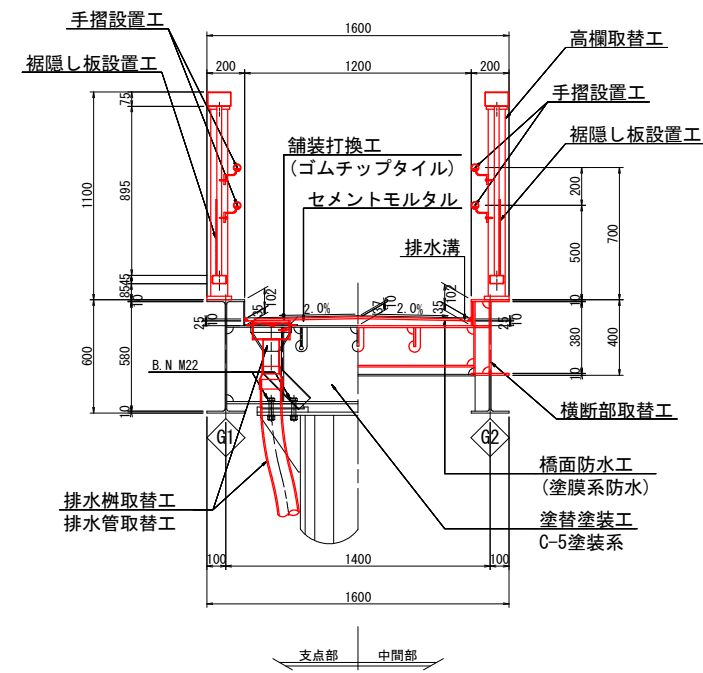


DL=2.000

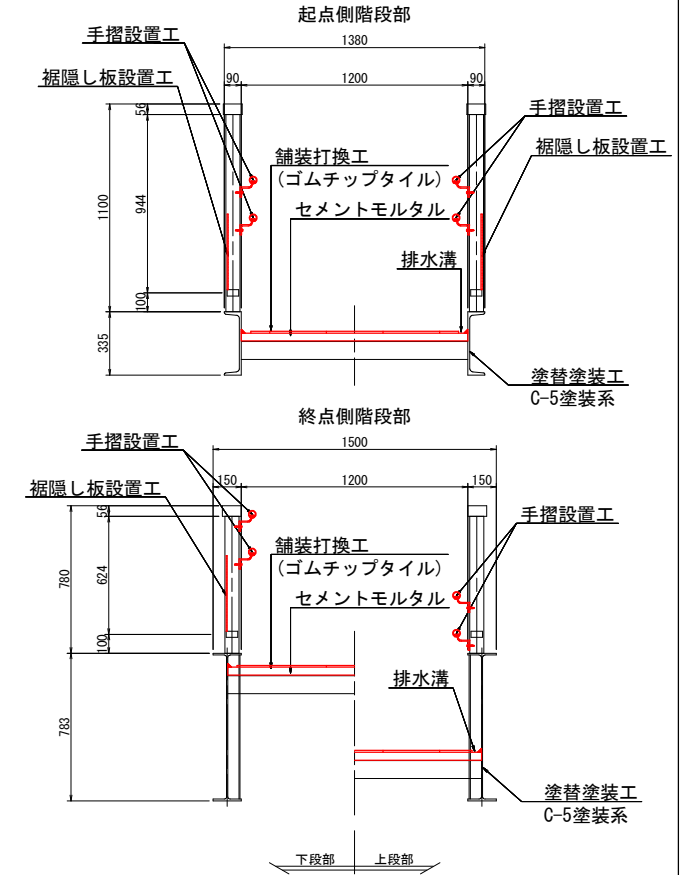
平面図



横断部断面図 S=1:20



階段部断面図 S=1:20



補修工事内容一覧

工種	仕様
塗替塗装工	C-5塗装系(横断部、階段部) D-5塗装系(横断部地覆内面) Rc-II塗装系(橋脚) 落書き・張紙防止塗装
舗装工	横断部 ゴムチップタイル舗装、床版防水工(塗膜系) 階段部 ゴムチップタイル舗装、床版防水工(塗膜系)
横断部取替工	横断部の部分取替え
排水工	横断部 排水樹取替工(SUS)、排水管取替工(塩ビ管)
防護柵工	裾隠し板設置工(ポリカーボネート) 高欄取替工(横断部)
バリアフリー対策工	視覚障害者用誘導タイル設置(横断部、階段部) 二段手摺り設置 手摺り用点字表示板設置
その他工事	シール工(通路と階段の遊間部、橋脚基礎部)

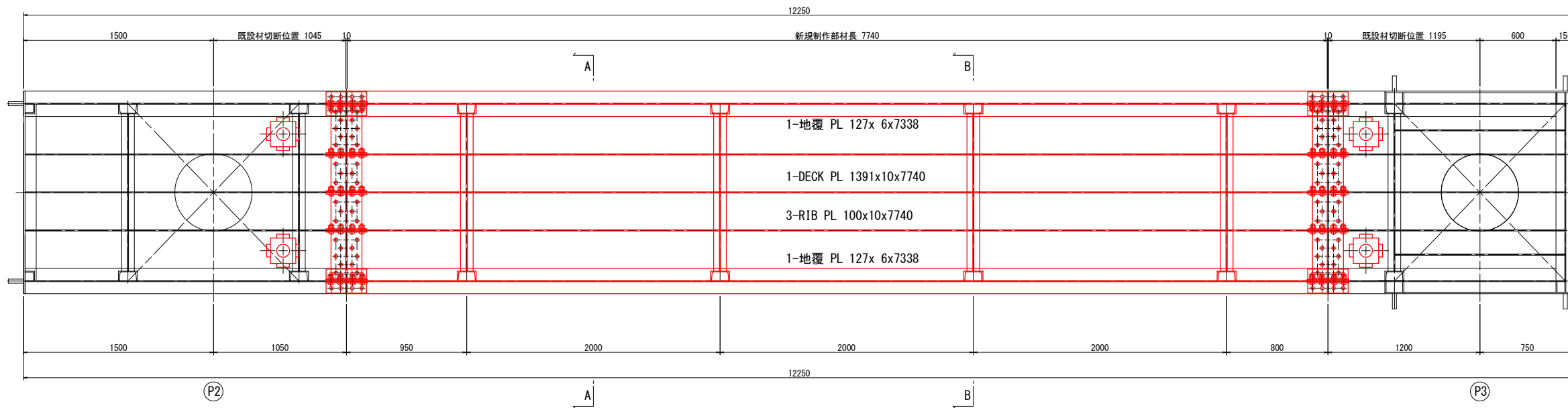
注記
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

実施設計図面

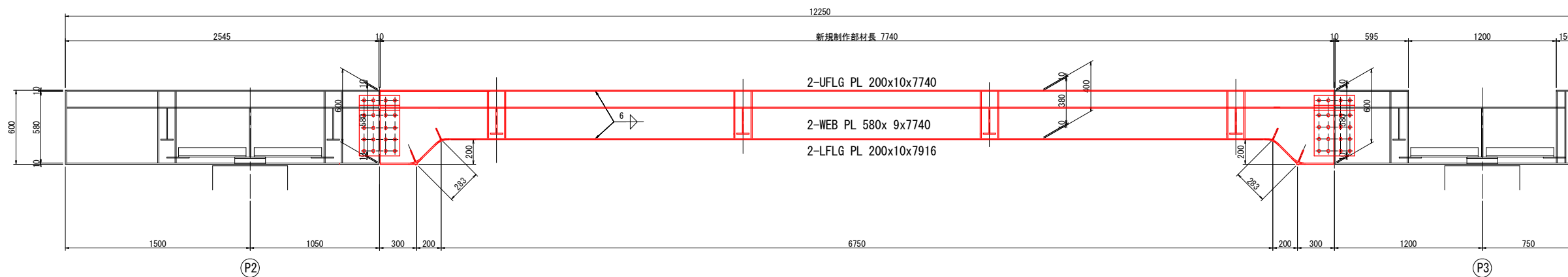
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野都藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 補修計画一般図
縮尺	S=1:100 図面番号 2 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

藍住町横断歩道橋 横断部取替工詳細図(1/3)

平面図 S=1:20

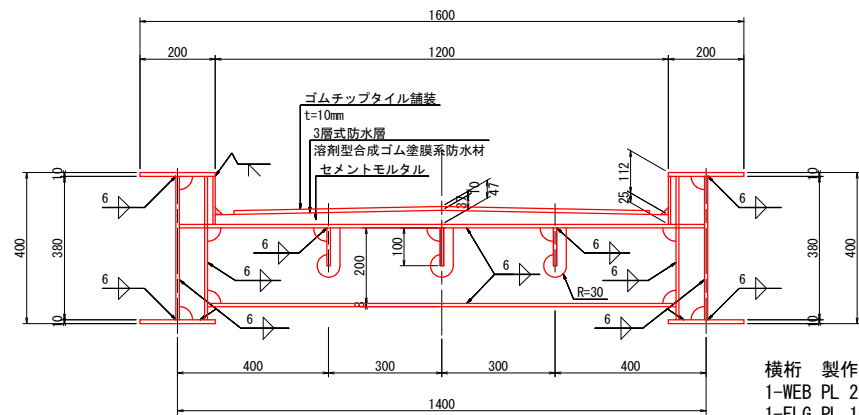
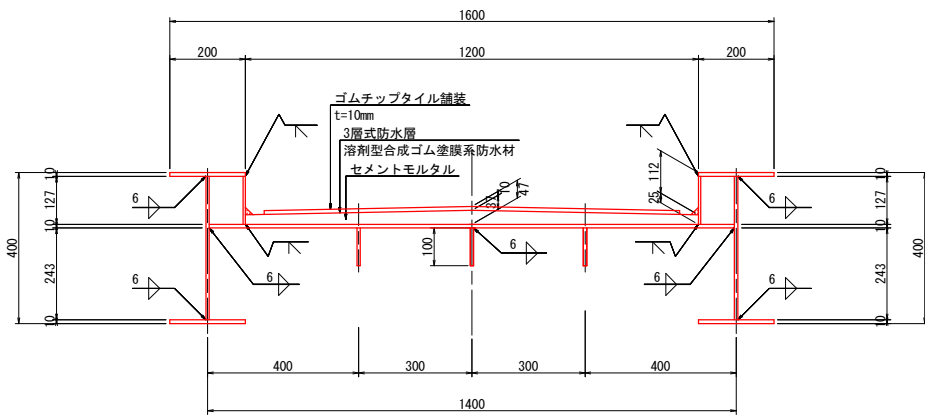


側面図 S=1:20



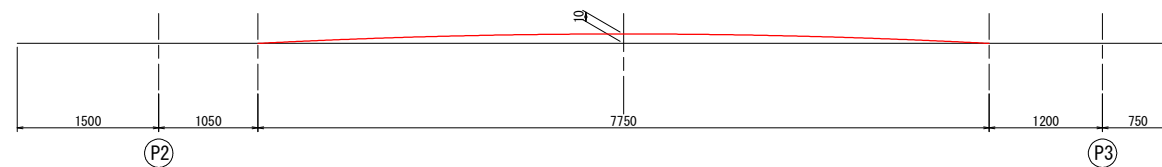
A-A断面 S=1:10

B-B断面 S=1:10



横桁 製作数 = 4
 1-WEB PL 200x8x1241
 1-FLG PL 100x8x1241
 2-VSTIF [150x75x6.5x10x380

製作キャンバー HS=1:40 VS=1:4



注記

- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
- 特記なきスカーラップは、全て R35 とする。
- ※部材は、溶融亜鉛メッキ処理とする。
垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35 とする。
- 高力ボルト孔は、温度変化等によるP2・P3橋脚間の測定誤差を吸収させるため
全てφ26.5(ボルト径(22mm)+4.5mm)とする。
(既設主桁・既設鋼床版・既設縦リブ孔明け数 = 116孔)
(新規製作部の孔数 = 116孔)
- 現地橋体を除去後、橋脚間を測定確認して切断位置を決定すること。
支点部等の損傷確認して、損傷あれば補修協議をすること。
- 高欄ベースプレート設置部の孔は、φ18.5とする。
(既設主桁上フランジ孔明け数 = 24孔)
(新規製作部の孔数 = 32孔)
高欄設置位置は、高欄詳細図参照のこと。

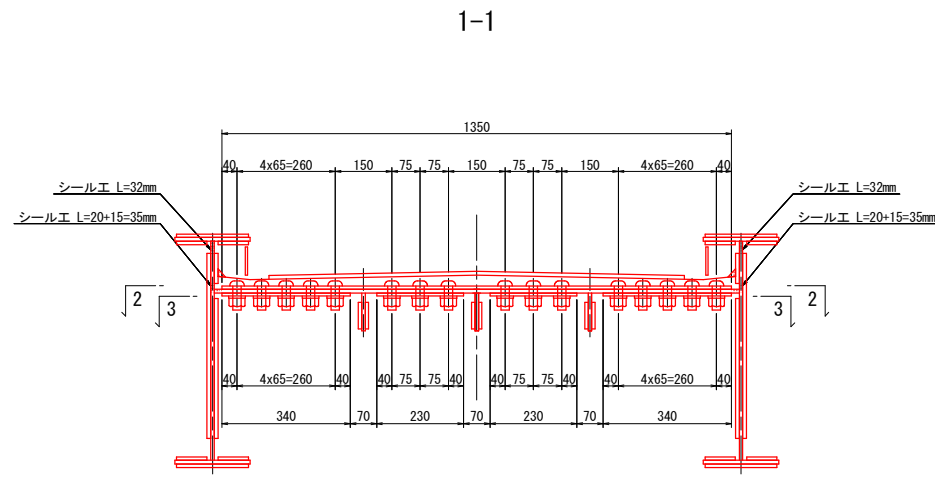
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 横断部取替工詳細図(1/3)
縮尺	図示 図面番号 3 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

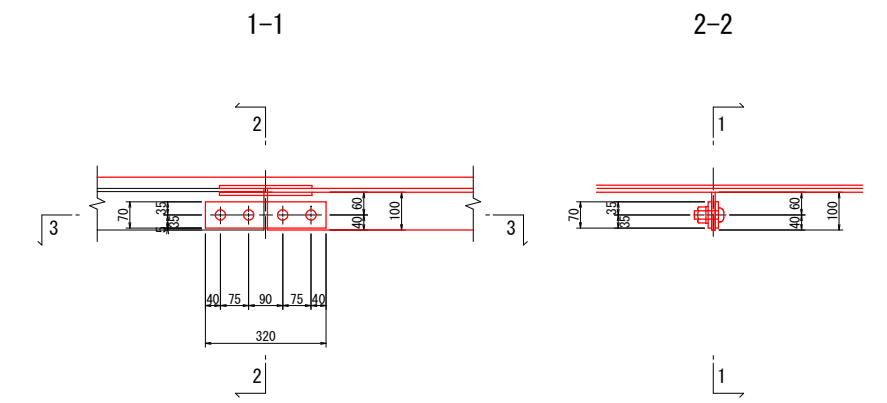
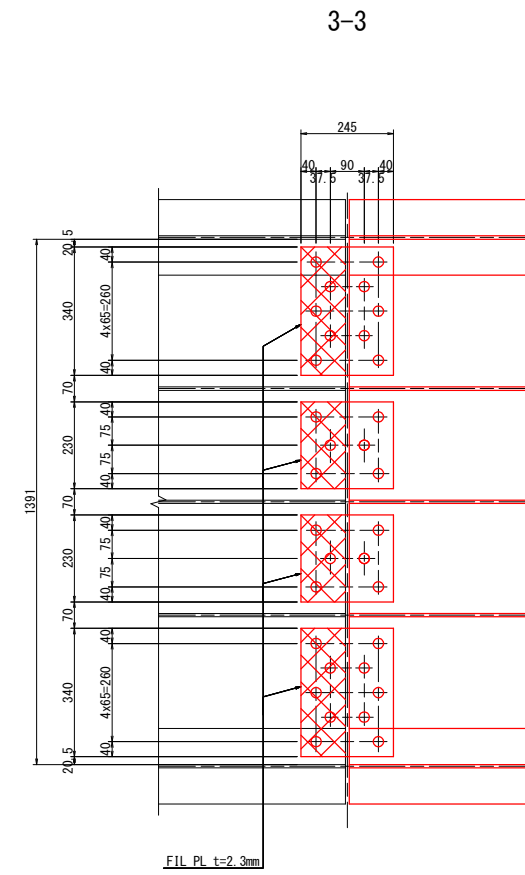
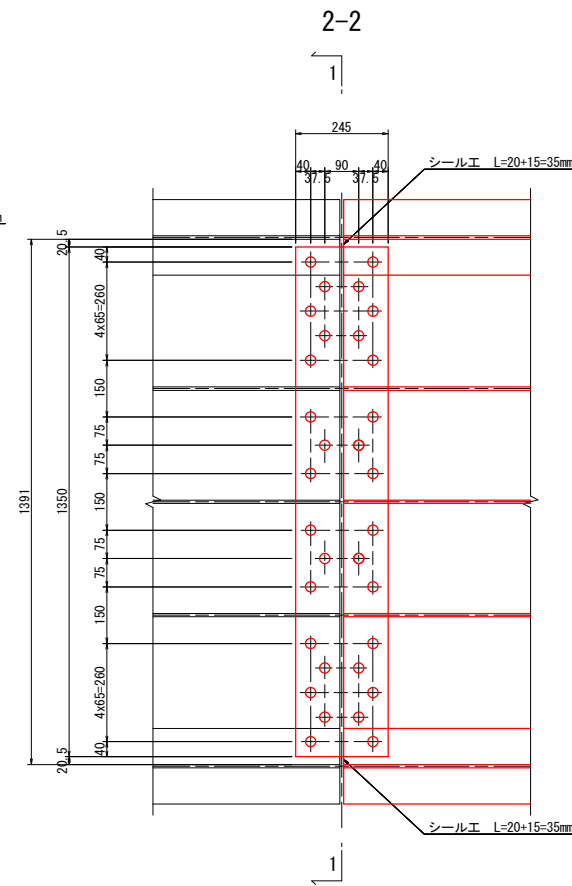
藍住町横断歩道橋 横断部取替工詳細図 (3/3)

鋼床版添接詳細図 S=1:10

縦リブ添接詳細図 S=1:10



鋼床版 添接 製作数 = 2
 2-SPL PL 340x 8x245 (SS400)
 2-SPL PL 230x 8x245 (SS400)
 1-SPL PL1350x 8x245 (SS400)
 2-FIL PL 340x2.3x117.5 (SS400)
 2-FIL PL 230x2.3x117.5 (SS400)
 32-TCB M22x65 (S10T)



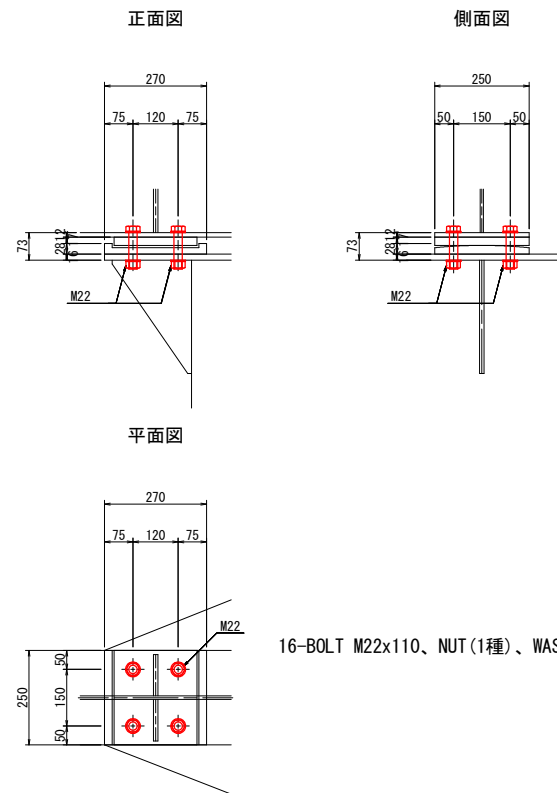
縦リブ 添接 製作数 = 6
 2-SPL PL 70x9x320 (SS400)
 4-TCB M22x65 (S10T)

支承詳細図 S=1:10

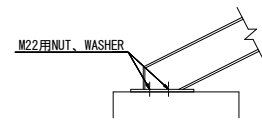
A1橋台側面図 S=1:30

階段取付板詳細図 S=1:10

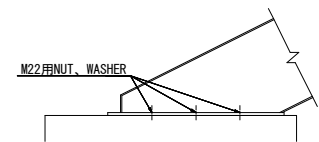
照明灯再設置 S=1:10



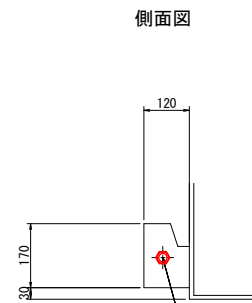
16-BOLT M22x110、NUT (1種)、WASHER (2) (SS400)



A2橋台・A3橋台側面図 S=1:30

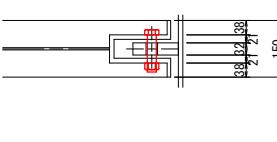
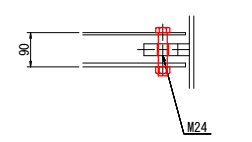


16-NUT (1種、3種)、WASHER (SS400)

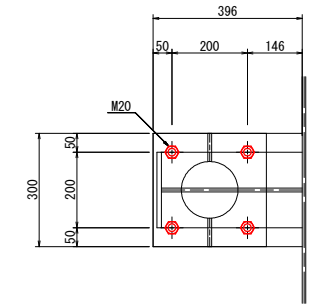
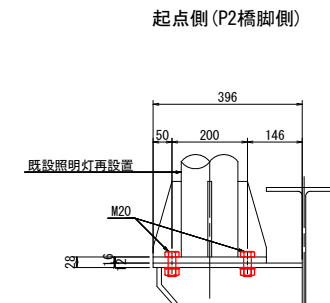


P2橋脚側平面図

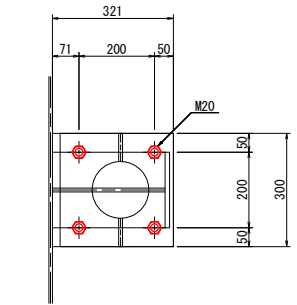
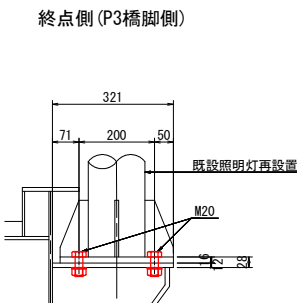
P3橋脚側平面図



6-BOLT M24x120、NUT (1種) (SS400)



8-BOLT M20x55、NUT (1種)、WASHER (SS400) 亜鉛メッキ



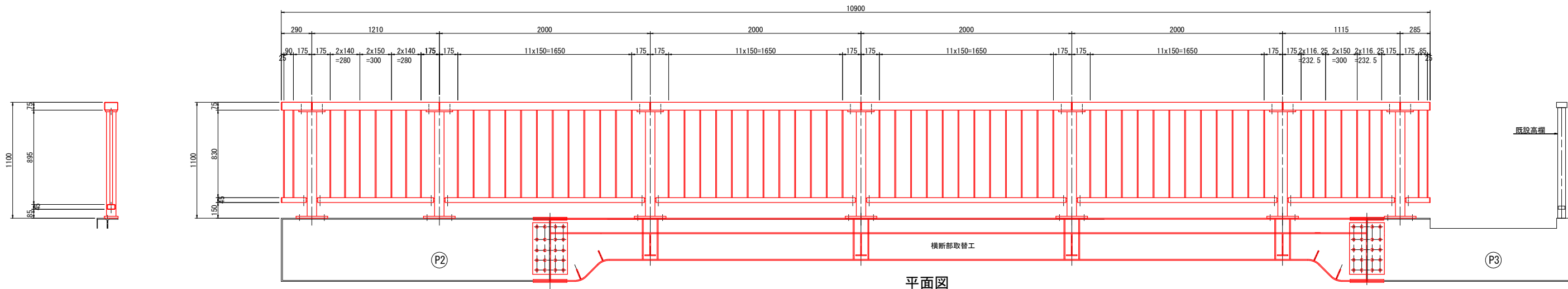
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 横断部取替工詳細図 (3/3)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

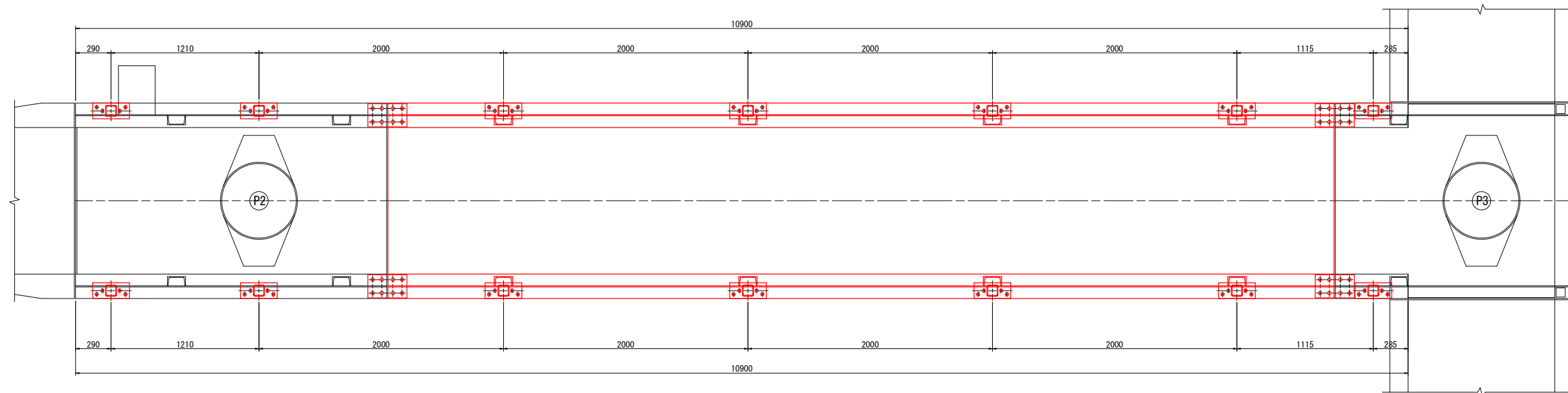
藍住町横断歩道橋 高欄詳細図(1/2) S=1:20

側面図

断面図

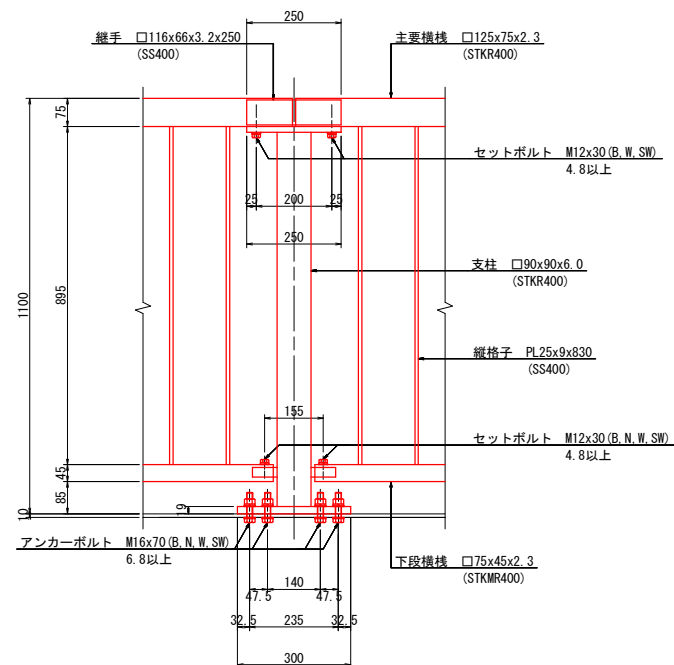


平面図

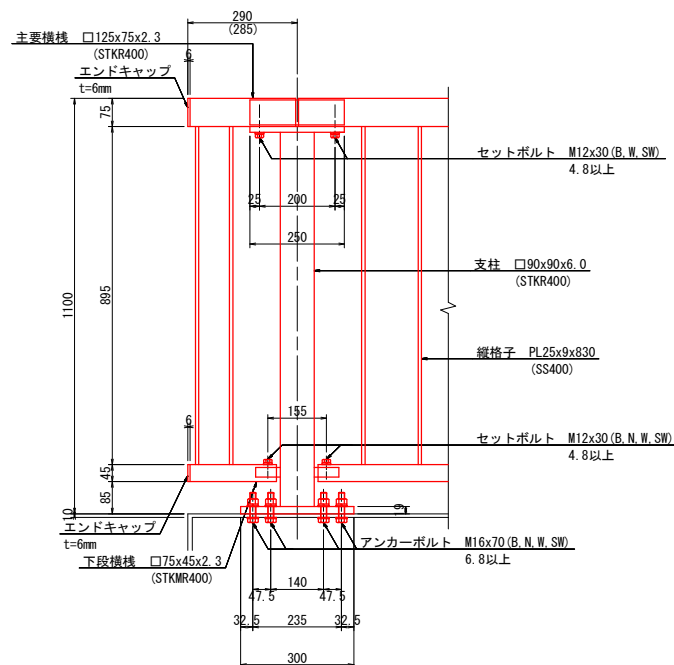


詳細図 S=1:10

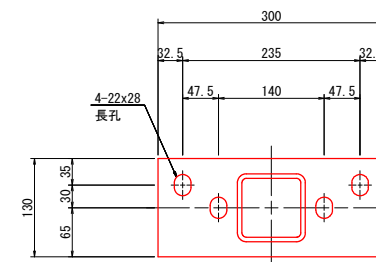
側面図



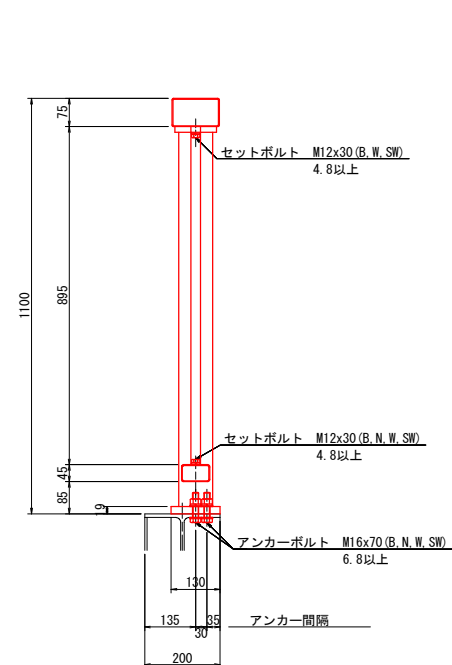
側面図(端部)



ベースプレート詳細図 S=1:5



断面図

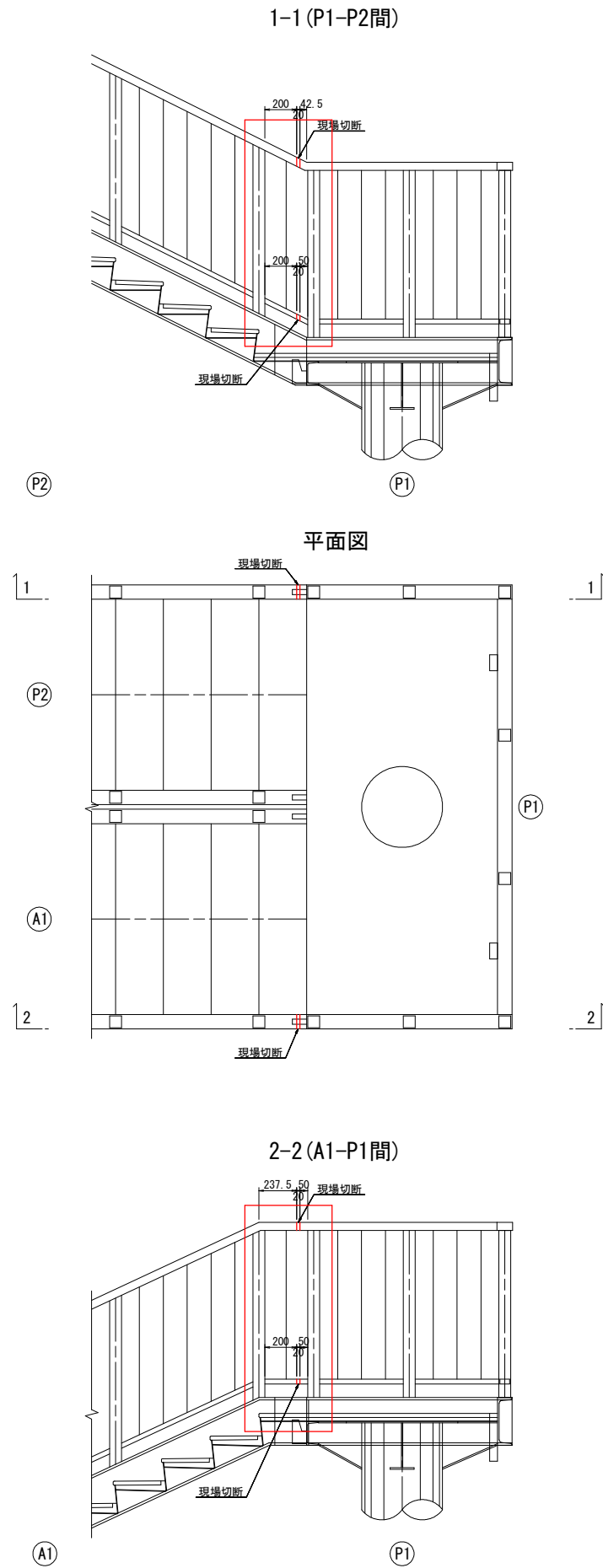


- 注記
- 高欄は、横断部設置後に施工することを基本とするが、設置が困難と判断した場合は協議のうえ施工方法を決定のこと。
 - 主桁上フランジには、工場にて孔明け(φ18.5)を行うこと。(既設主桁上フランジ孔明け数 = 24孔)

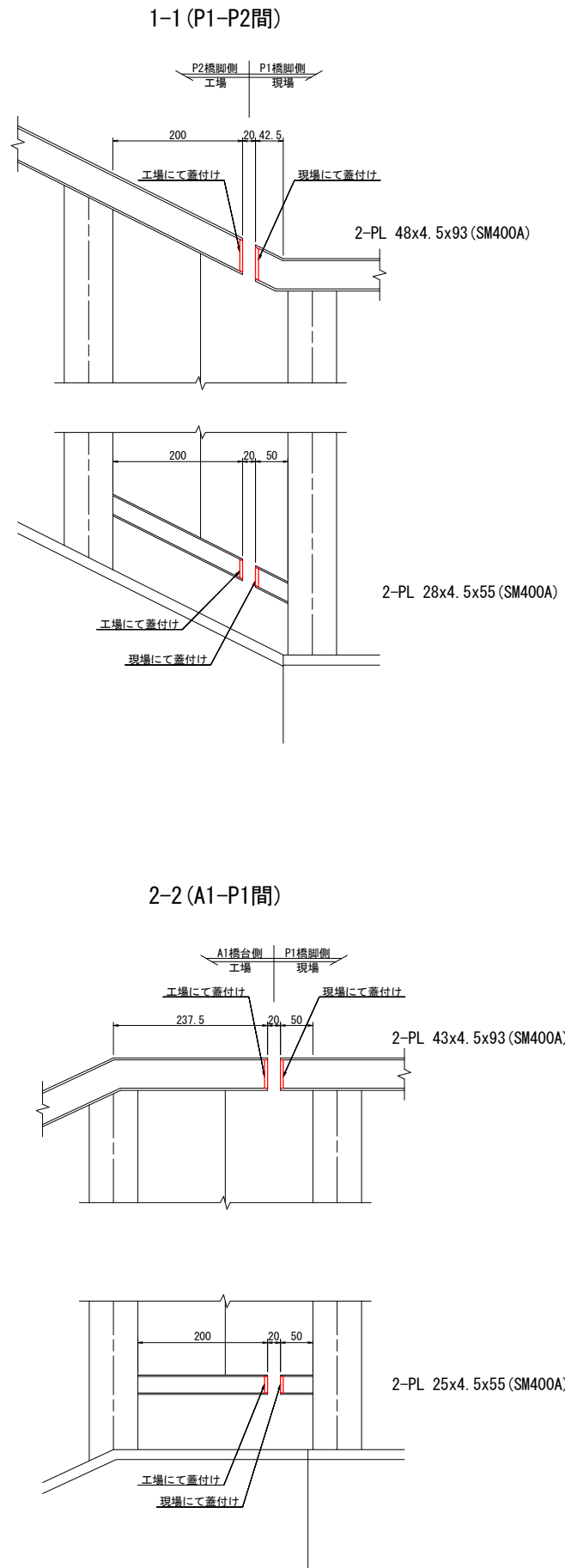
実施設計図面	
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 高欄詳細図(1/2)
縮尺	S=1:20 図面番号 6 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

藍住町横断歩道橋 高欄詳細図(2/2)

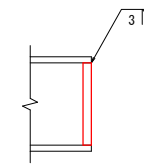
P1橋脚部高欄詳細図 S=1:20



高欄端部蓋付け詳細図 S=1:5



溶接詳細図 S=1:2



注記
 1. 切断位置は、現場実測後決定する。
 2. 蓋のサイズは、現場実測後に決定する。

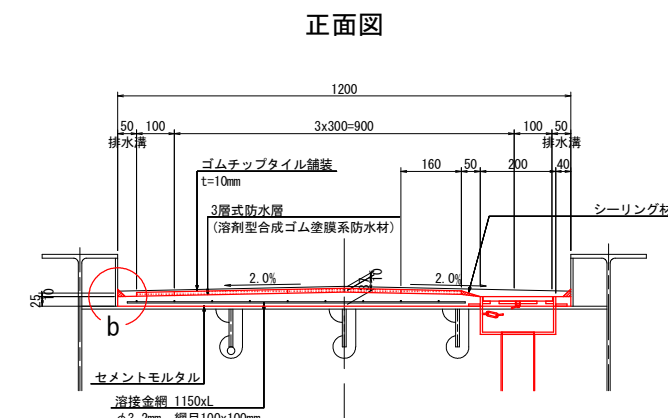
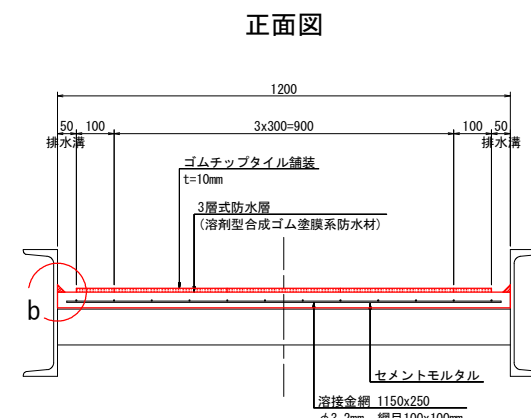
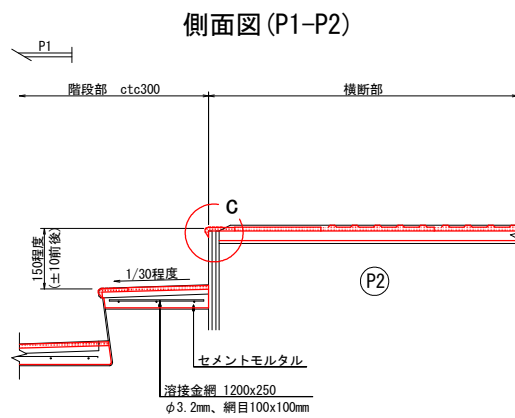
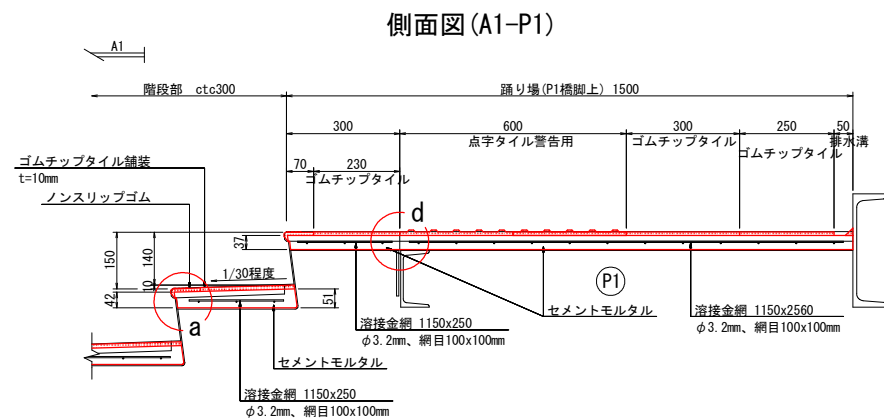
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 高欄詳細図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

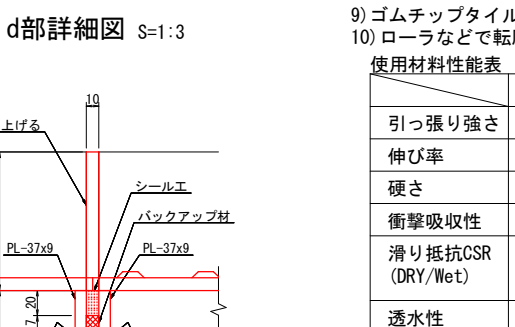
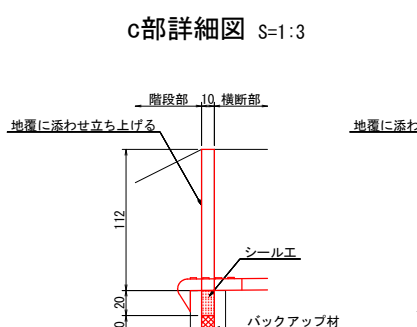
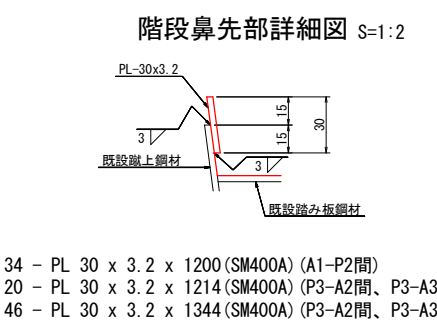
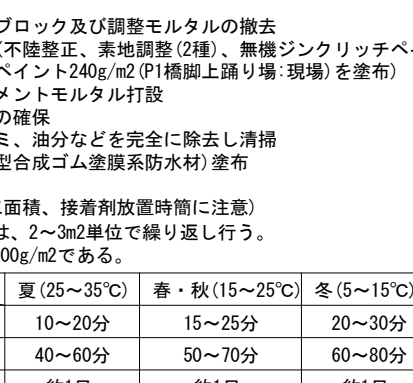
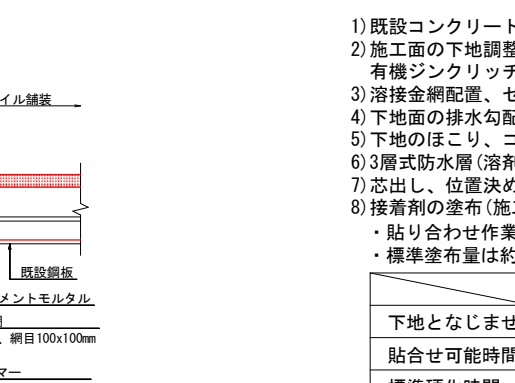
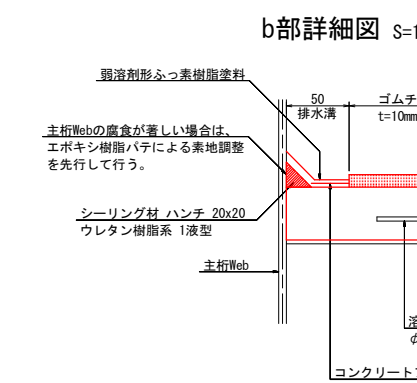
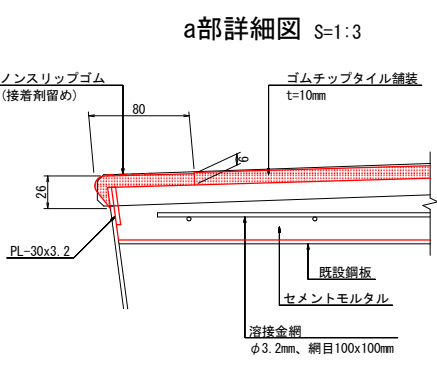
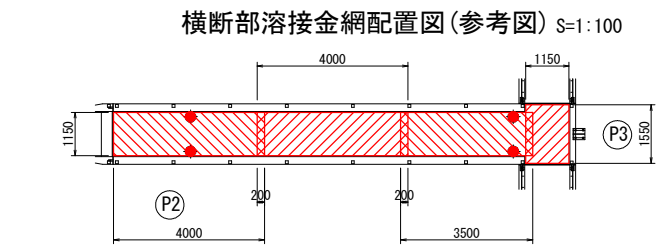
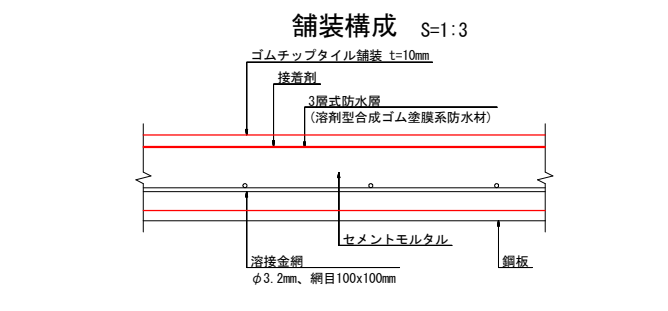
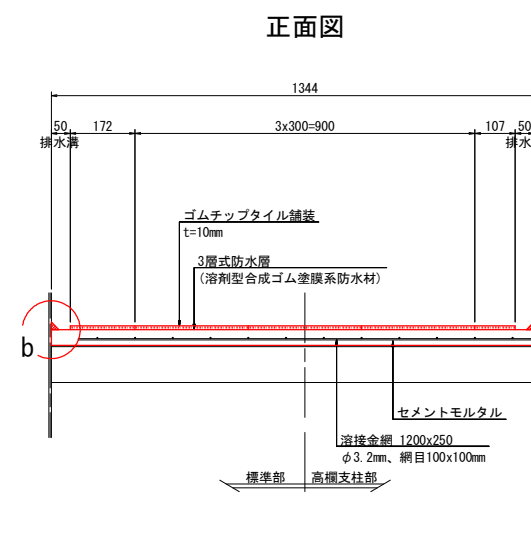
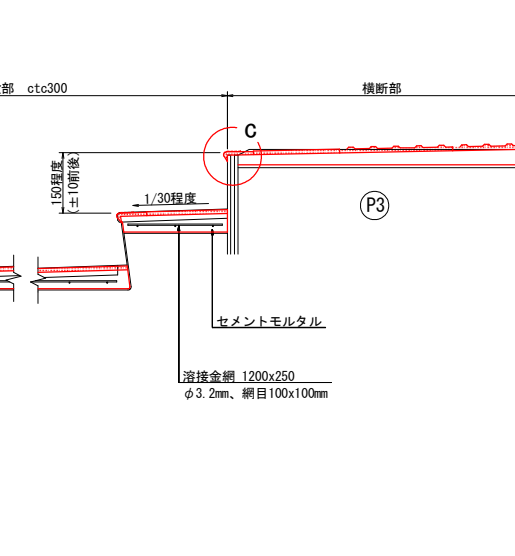
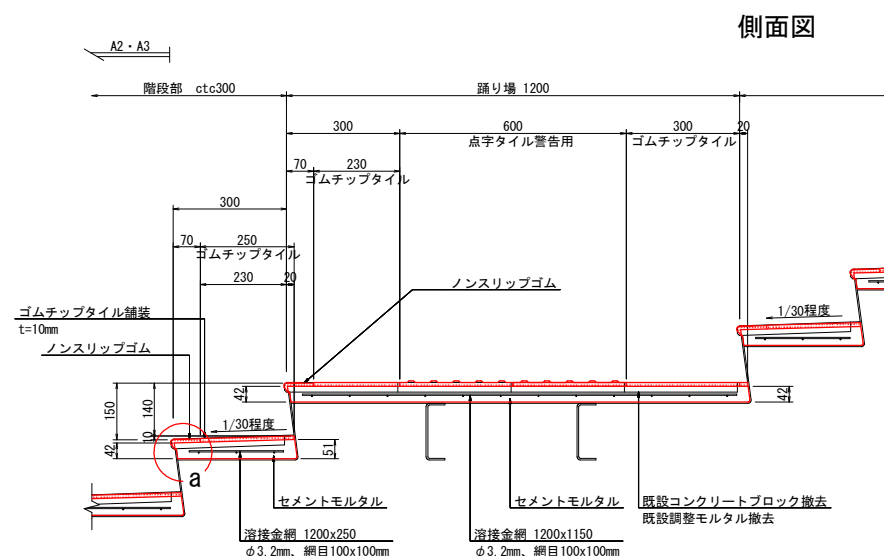
藍住町横断歩道橋 舗装工詳細図 (2/2)

階段部 (A1-P1・P1-P2) 舗装詳細図 S=1:10

横断部 (P2-P3) 舗装詳細図 S=1:10



階段部 (P3-A2・P3-A3) 舗装詳細図 S=1:10



- 34 - PL 30 x 3.2 x 1200 (SM400A) (A1-P2間)
- 20 - PL 30 x 3.2 x 1214 (SM400A) (P3-A2間、P3-A3間)
- 46 - PL 30 x 3.2 x 1344 (SM400A) (P3-A2間、P3-A3間)

- 2 - PL 37 x 9 x 1200 (SM400A) 階段側
- 2 - PL 37 x 9 x 1290 (SM400A) 踊り場側

概略施工手順

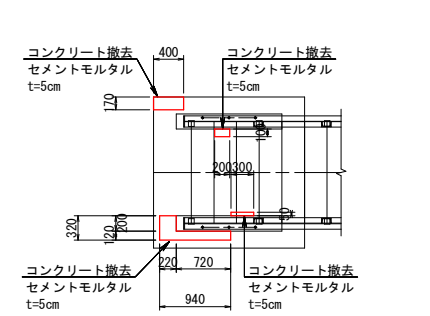
- 1) 既設コンクリートブロック及び調整モルタルの撤去
- 2) 施工面の下地調整 (不陸整正、素地調整 (2種)、無機ジンクリッチペイント600g/m² (工場)、有機ジンクリッチペイント240g/m² (P1橋脚上踊り場:現場)) を塗布
- 3) 溶接金網配置、セメントモルタル打設
- 4) 下地の排水勾配の確保
- 5) 下地のほこり、ゴミ、油分などを完全に除去し清掃
- 6) 3層式防水層 (溶剤型合成ゴム塗膜系防水材料) 塗布
- 7) 芯出し、位置決め
- 8) 接着剤の塗布 (施工面積、接着剤放置時間に注意)
 - ・貼り合わせ作業は、2~3m²単位で繰り返し行う。
 - ・標準塗布量は約600g/m²である。

	夏 (25~35℃)	春・秋 (15~25℃)	冬 (5~15℃)
下地となじませ	10~20分	15~25分	20~30分
貼合せ可能時間	40~60分	50~70分	60~80分
標準硬化時間	約1日	約1日	約1日

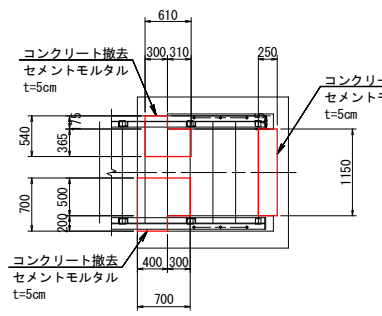
- 9) ゴムチップタイトルの貼り合わせ (場所によりカッター切断)
- 10) ローラなどで転圧し、よく圧着させる

	使用標準値	備考
引っ張り強さ	0.6 Mpa	JIS K 6251 に準じる
伸び率	93 %	JIS K 6251 に準じる
硬さ	62 C Type	JIS K 6253 に準じる
衝撃吸収性	80~98G	JIS A 6519 に準じる
滑り抵抗CSR (DRY/Wet)	0.73 CSR / 0.73 CSR	JIS A 1454 に準じる
透水性	0.7 cm/sec	日本道路建設業協会

A2橋台補修工詳細図 S=1:30



A3橋台補修工詳細図 S=1:30



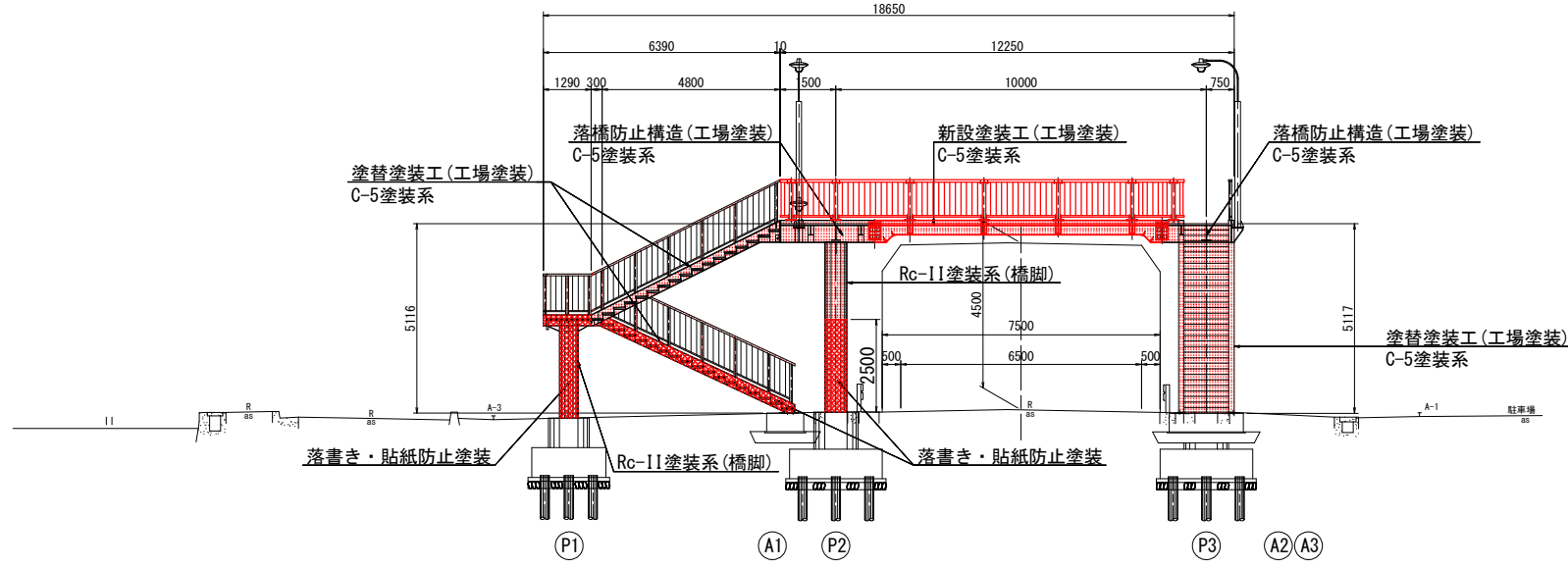
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁補修工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 舗装工詳細図 (2/2)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

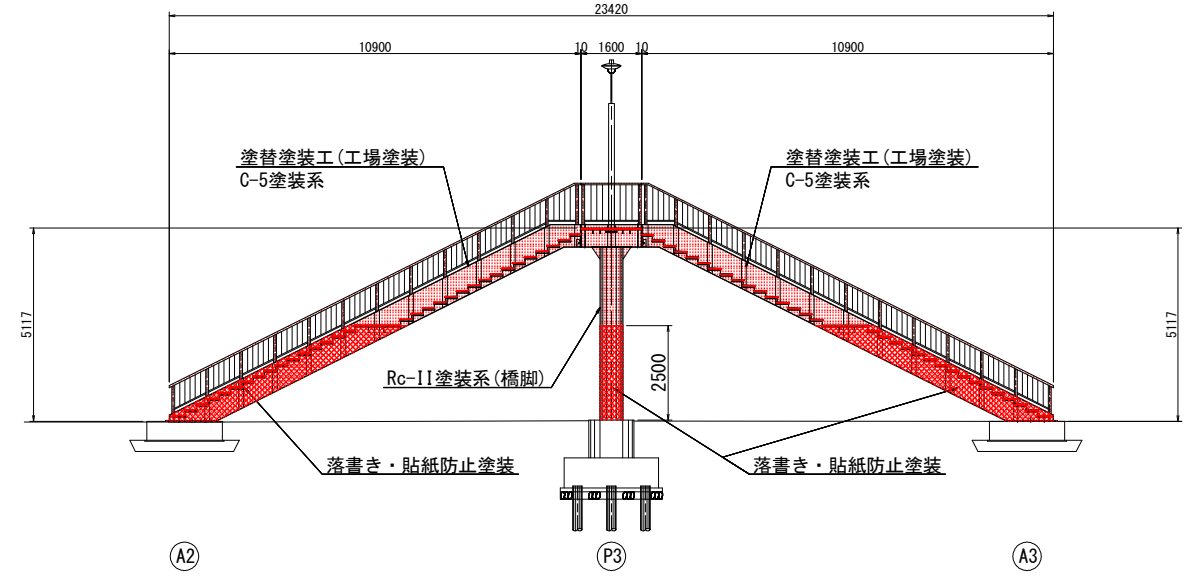
- 注記)
1. 工事着手前に現橋の再計測を行い施工範囲を確認すること。
 2. ゴムチップタイトルの貼り付けは、施工範囲を確認した後適宜現場に合うよう変更対応のこと。
 3. 使用する材料は、担当者に承認をうけること。
 4. 施工手順及び仕様は、使用する製品の施工要領書に準じること。

藍住町横断歩道橋 塗替塗装工詳細図(1/2) S=1:100

側面図(1-1)



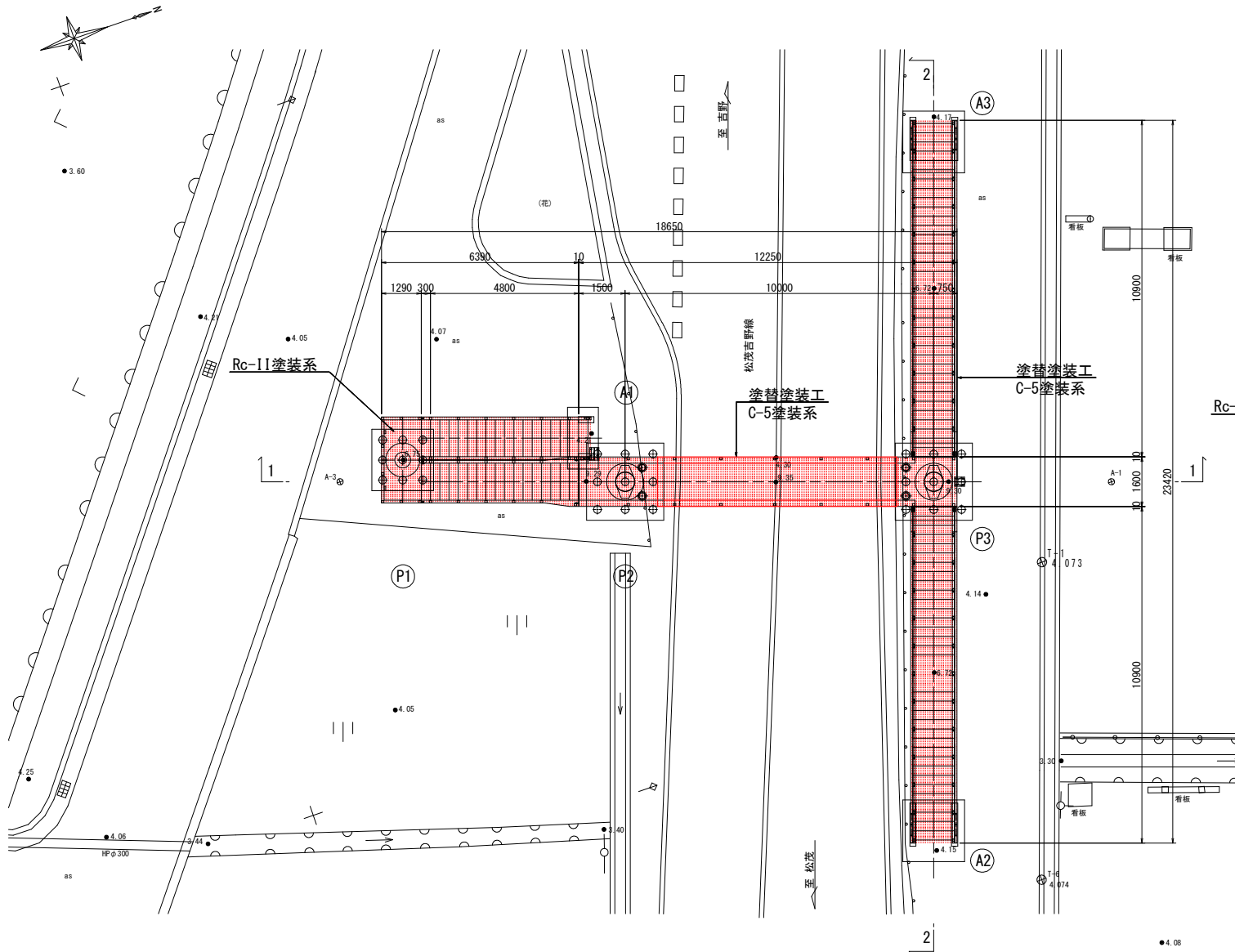
側面図(2-2)



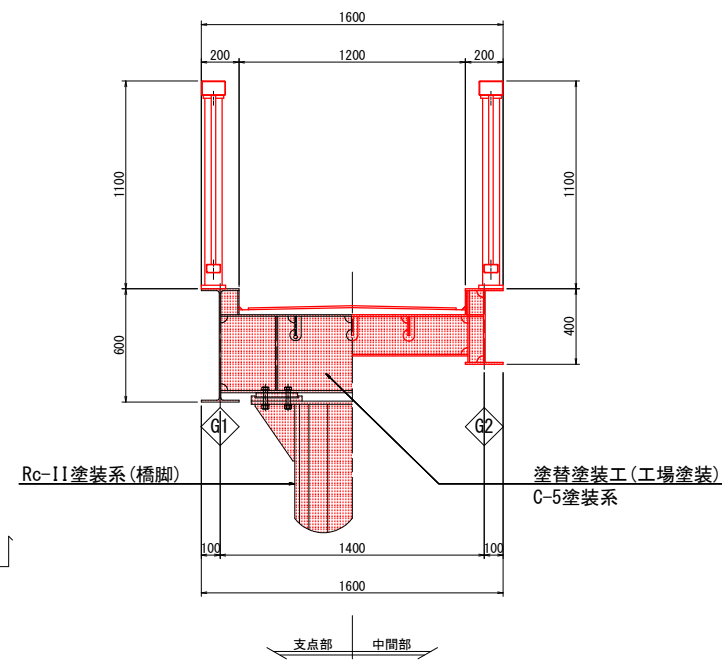
DL=-2.000

DL=-2.000

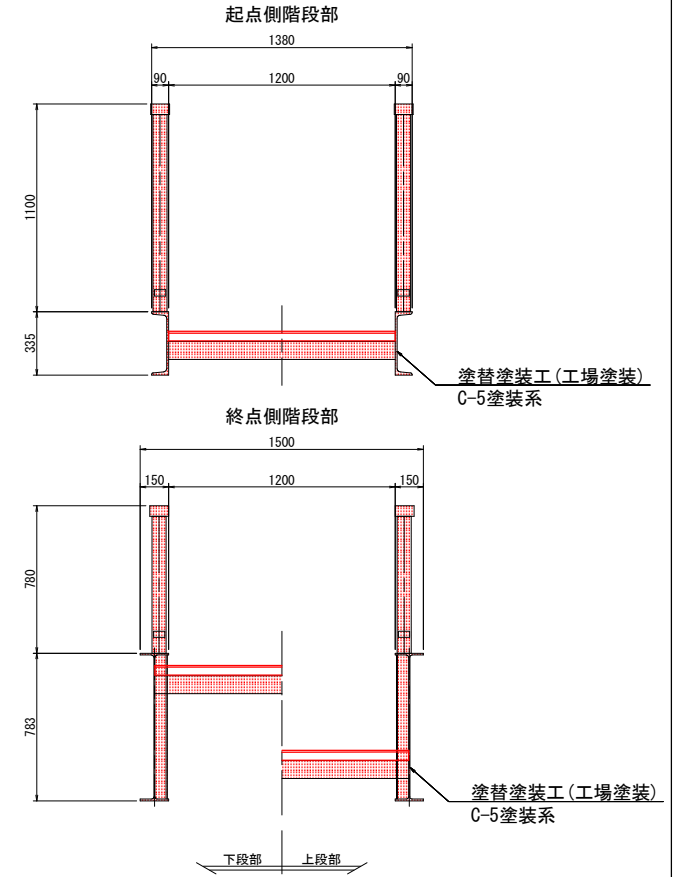
平面図



横断面断面図 S=1:20



階段部断面図 S=1:20

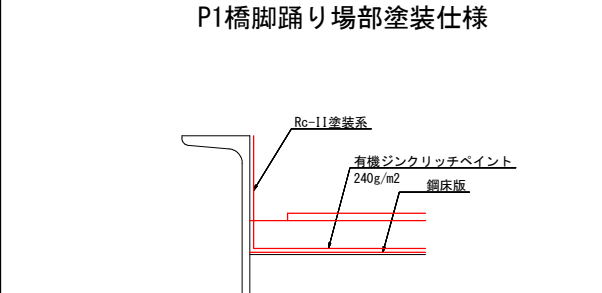
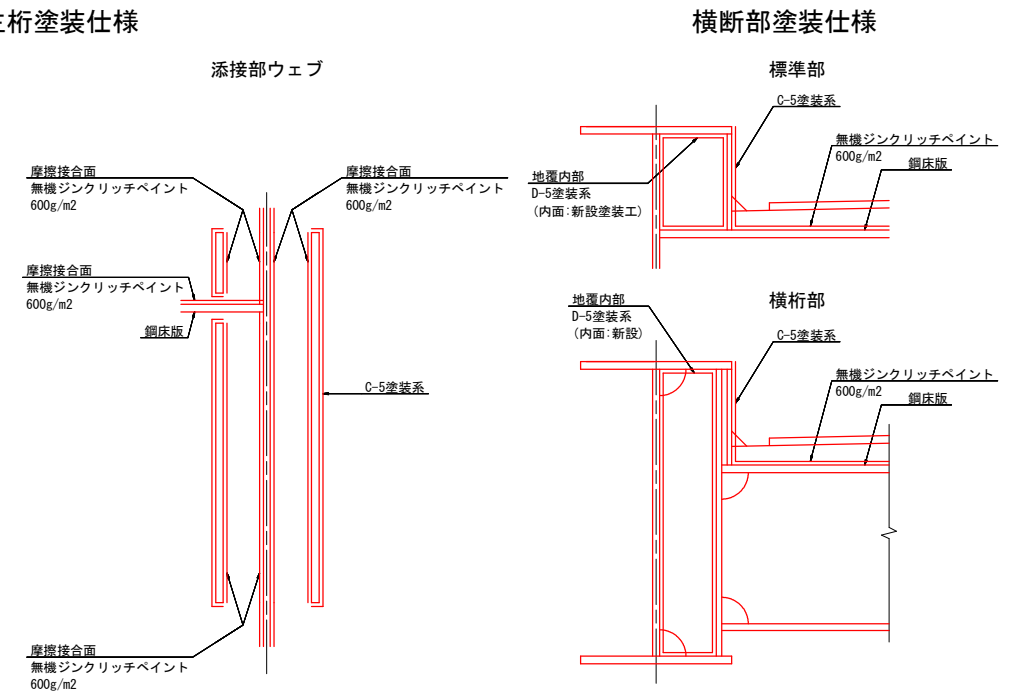
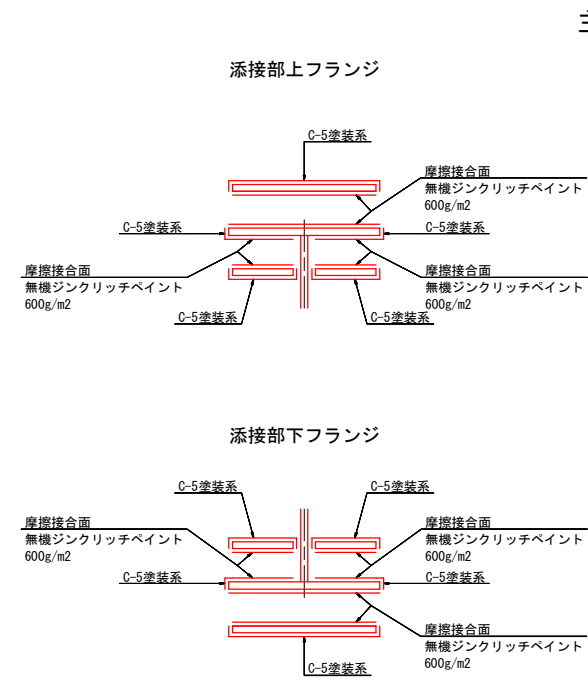
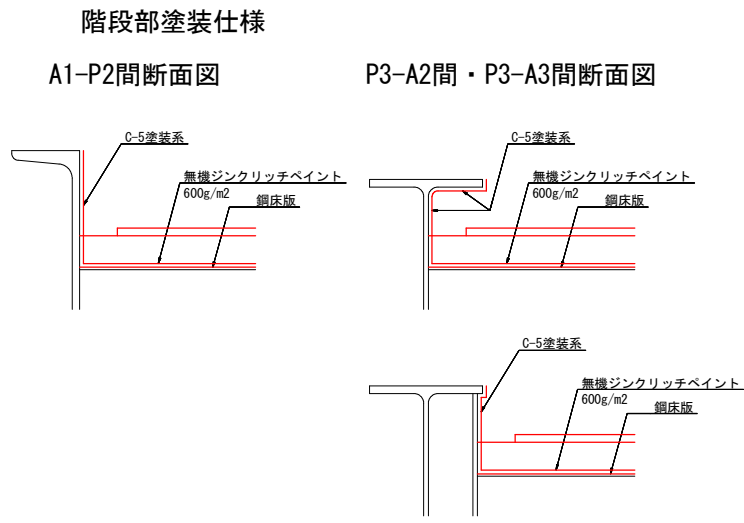
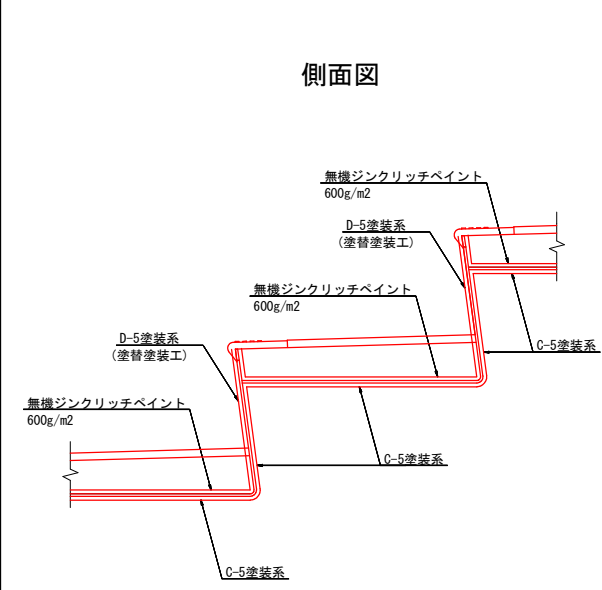


- 凡例
- :C-5・D-5塗装系(工場塗装)
 - :Rc-II塗装系(塗膜剥離剤使用・現場塗装)
 - :落書き・貼紙防止塗装(現場塗装)

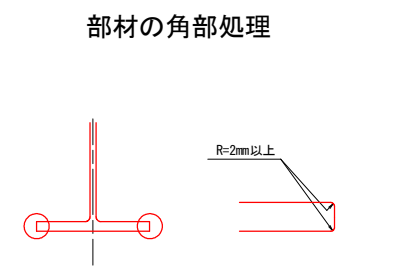
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 塗替塗装工詳細図(1/2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	10 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

藍住町横断歩道橋 塗替塗装工詳細図(2/2) S=1:5



注記) 1. 既設部は、内面塗装以外を上図の要領で塗装を行うこと。



注記) 1. 塗り替え塗装の対象となる範囲の、自由端部は上図に示すようにグラインダー等により曲面加工を行う。

工場での新設・塗替塗装工

一般外面塗装仕様：C-5塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔	
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内	
	プライマー	無機ジンクリッチプライマー	(160)	(15)	~6ヶ月
橋梁製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内	
	防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
	ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160	-	1日~10日
	下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120	1日~10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日~10日	

注) 1: 使用量はスプレーの場合を示す。
注) 2: プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注) 3: 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

工場での新設塗装工

内面塗装仕様：D-5塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジンクリッチプライマー	(160)	(15)
橋梁製作工場	2次素地調整	電動工具処理 ISO St 3		4時間以内
	第1層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410	120
第2層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410	120	1日~10日

注) 1: プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注) 2: 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

工場での塗替塗装工

内面塗装仕様：D-5塗装系相当(既設部材)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔	
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内	
	プライマー	無機ジンクリッチプライマー	(160)	(15)	~6ヶ月
橋梁製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内	
	防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
	第1層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410	120	1日~10日
第2層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410	120	1日~10日	

現場での塗替塗装工

塗替え塗装仕様：Rc-II塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗料間隔
素地調整	2種 ※1			4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント ※2	(240)	-	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	25	1日~10日

※1: 素地調整程度2種であるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、他の旧塗膜は全面除去する。
※2: 素地調整後に残存する塗膜がジンクリッチプライマー以外の場合は、有機ジンクリッチペイントを弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(200g/m2)に変更する。

工場・現場での塗装工

落書き・張紙防止塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗料間隔
クリアー※1	落書き・貼紙防止透明塗布剤	70~80	15	

※1: 階段下面、階段主桁、橋脚支柱下部のみ落書き・貼紙防止透明塗布剤を塗布する。

工場塗装に於ける注意事項

- 工場塗装はC-5塗装系とする。
- 既設部(工場塗装部材)は、工場にてプラスト後C-5塗装を行うこと。
- 階段蹴上面はC-5塗装系と同様にプラスト処理および防食下地を行い、D-5塗装系相当の塗装とする。
- 本橋の既存塗装材料には、「鉛又はその化合物」が含まれているため、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用等を実施する。

現場での塗替え塗装に於ける注意事項

- 本橋の既存塗装材料には、「鉛又はその化合物」が含まれているため、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、湿式による作業の実施、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用等を実施する。
- ※) 設計時の塗膜成分検査において確認
- 本橋の素地調整工法には、「塗膜剥離剤」を使用した工法を基本にしているが構造細部等で素地調整が十分でない箇所は、工具等で適宜素地調整の補完作業を行うこと。
- 湿式塗膜剥離剤は、剥離試験を実施し適正を確認すること。
- 本橋の塗装には有害物質が含まれた材料が使用されているため、施工に際しては法令等に準拠した対応を行うこと。
- 塗膜除去作業により発生した廃棄物は、関係法令に従って特別管理産業廃棄物の特定有害鉱さい(鉛)として処理すること。

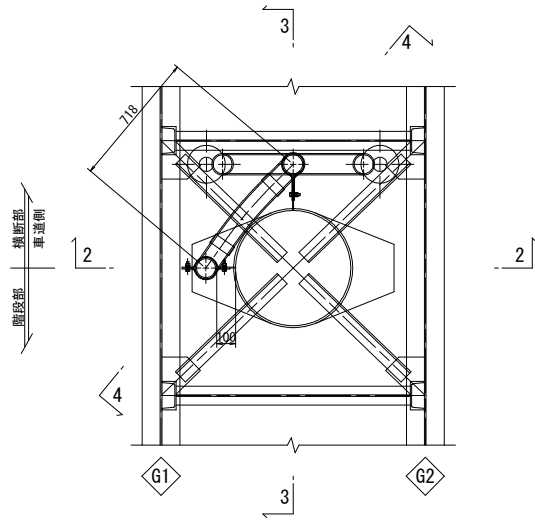
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 塗替塗装工詳細図(2/2)
縮尺	S=1:5 図面番号 11 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

藍住町横断歩道橋 排水工詳細図(1/2) S=1:20

P2橋脚排水工詳細図
(2号排水樹)

平面図(1-1)

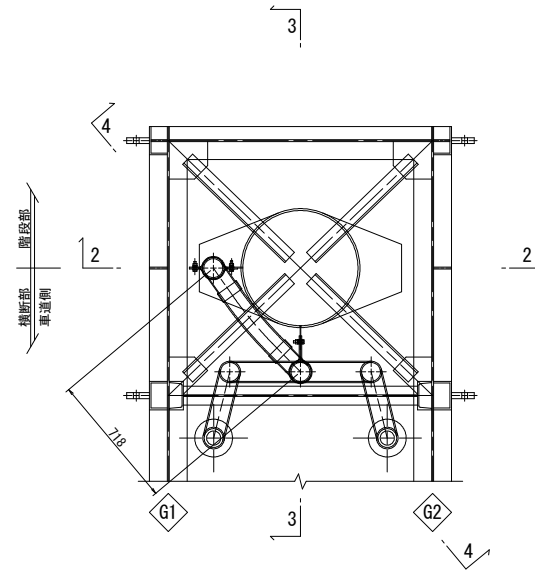


P2橋脚排水装置補修内容一覧表

名称	仕様・規格	単位	数量
ステンレス排水樹	TSDR-40同等品	基	2
インクリーザー	DV-IN-100mmx75mm	個	2
フレキシブル塩ビ管	100A L=1000mm(屋外排水用)	本	3
排水管	VP100A	m	2.85
90°大曲りエルボ	DV-LL-100mm	個	2
90°大曲り両Y	DV-WLT-100mm	個	1
45°エルボ	DV-45L-100mm	個	3
取付金具	t≦38mm SS400	基	1
既設取付金具ボルト設置		基	2
既設取付金具撤去		基	2

P3橋脚排水工詳細図
(3号排水樹)

平面図(1-1)

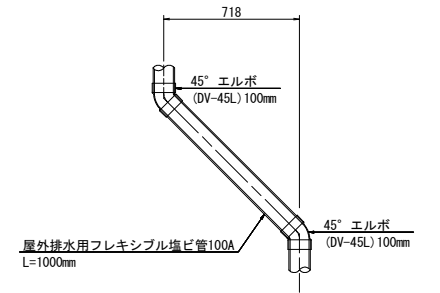


P3橋脚排水装置補修内容一覧表

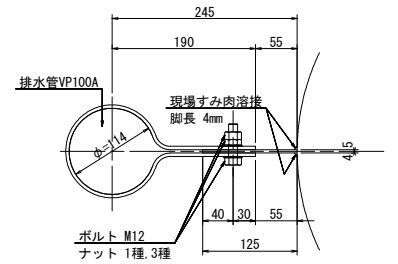
名称	仕様・規格	単位	数量
ステンレス排水樹	TSDR-40同等品	基	2
インクリーザー	DV-IN-100mmx75mm	個	2
フレキシブル塩ビ管	100A L=1000mm(屋外排水用)	本	3
排水管	VP100A	m	2.55
90°大曲りエルボ	DV-LL-100mm	個	2
90°大曲り両Y	DV-WLT-100mm	個	1
45°エルボ	DV-45L-100mm	個	3
取付金具	t≦38mm SS400	基	1
既設取付金具ボルト設置		基	2
既設取付金具撤去		基	2

断面図(4-4)

P2橋脚・P3橋脚共通

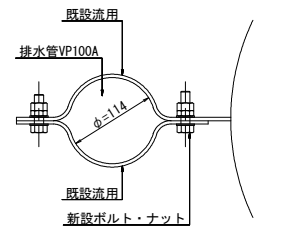


新設取付金具 S=1:5



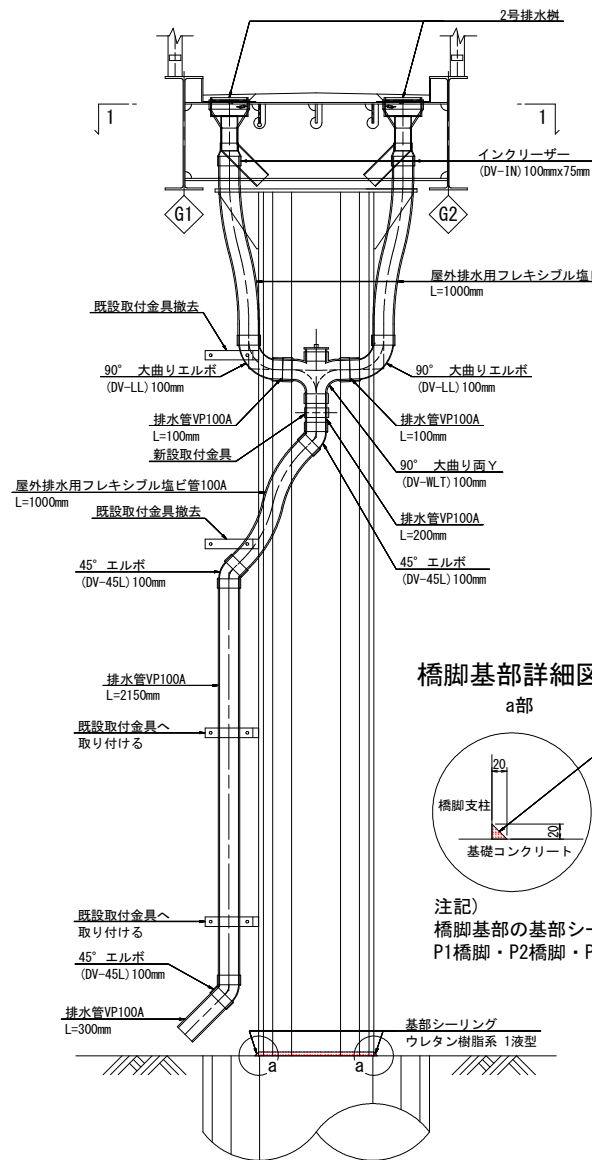
- 取付金具 1.0箇所当たり
製作数: 2
1 - PL 50 x 4.5 x 614
1 - PL 50 x 4.5 x 125
1 - ボルト M12x45 (2W)
1 - ナット 1種
1 - ナット 3種

既設取付金具 S=1:5



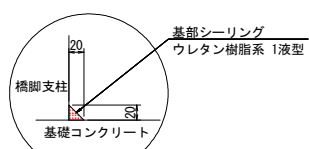
- 既設取付金具 1.0箇所当たり
製作数: 4
2 - ボルト M12x45 (2W)
2 - ナット 1種
2 - ナット 3種

断面図(2-2)



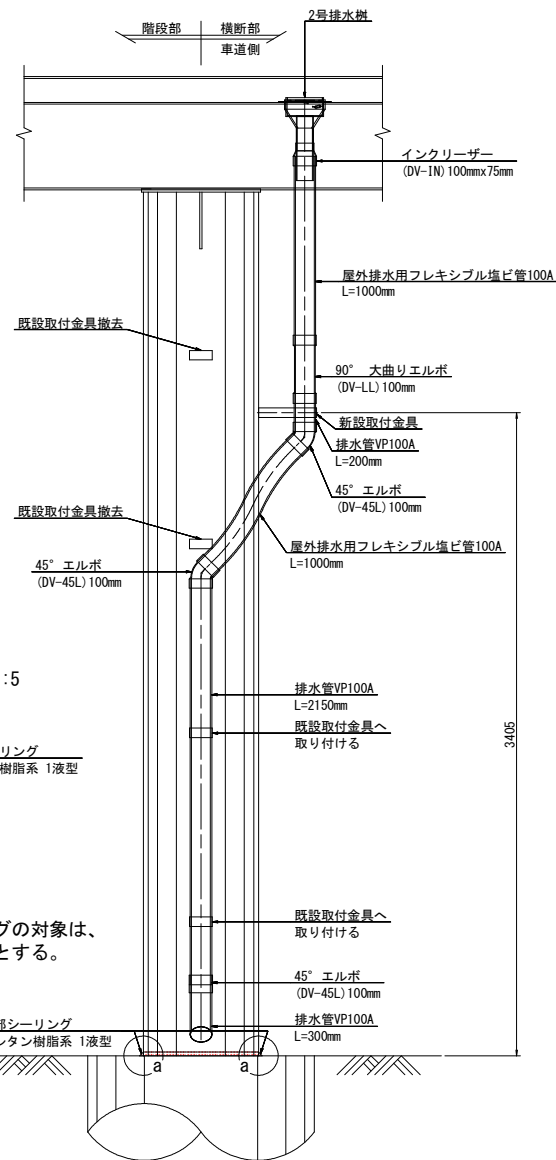
橋脚基部詳細図 S=1:5

a部

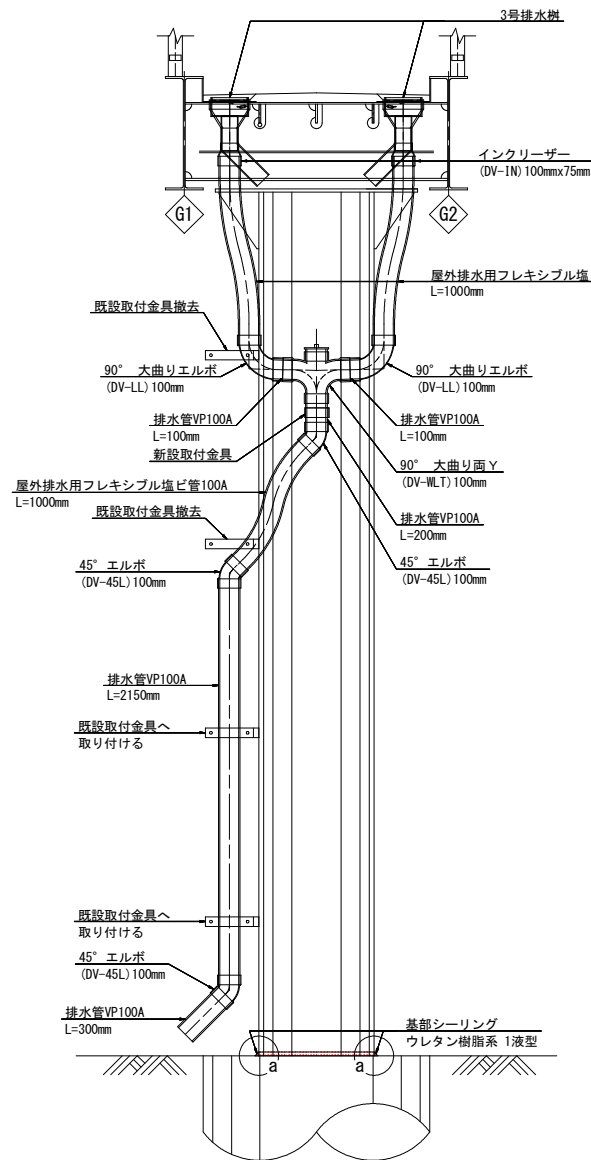


注記)
橋脚基部の基部シーリングの対象は、
P1橋脚・P2橋脚・P3橋脚とする。

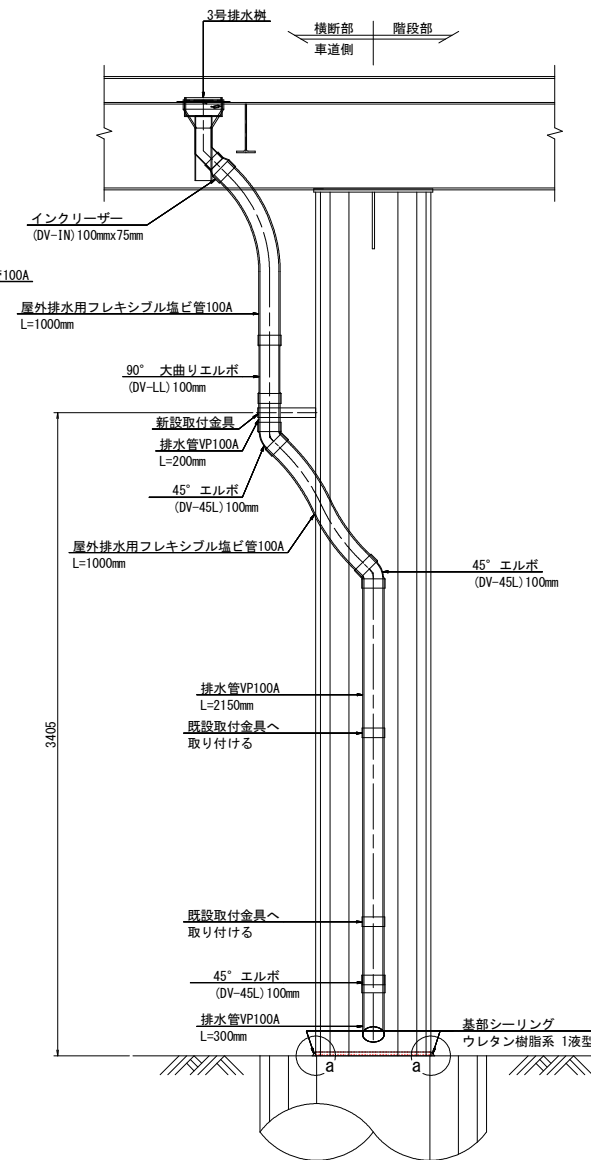
断面図(3-3)



断面図(2-2)



断面図(3-3)



注記)

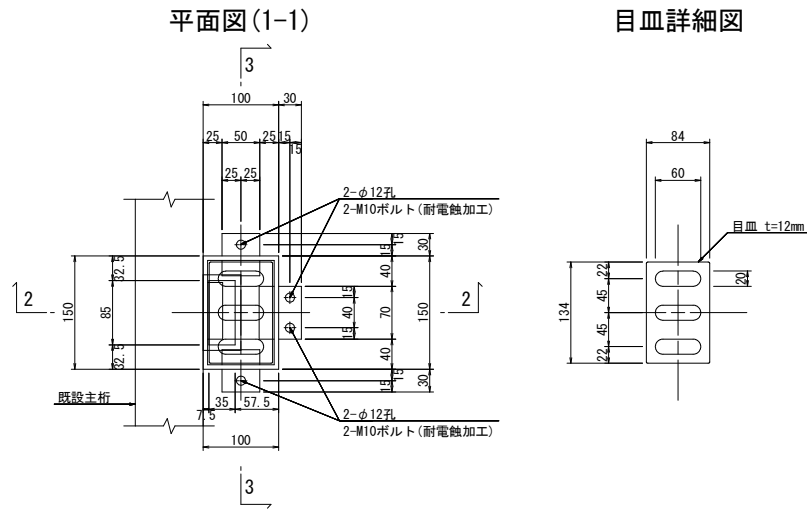
1. 工事着手前に現橋の再計測を行い形状を決定すること。
2. 新設取付金具の位置は、排水管設置状況により適宜変更のこと。

実施設計図面

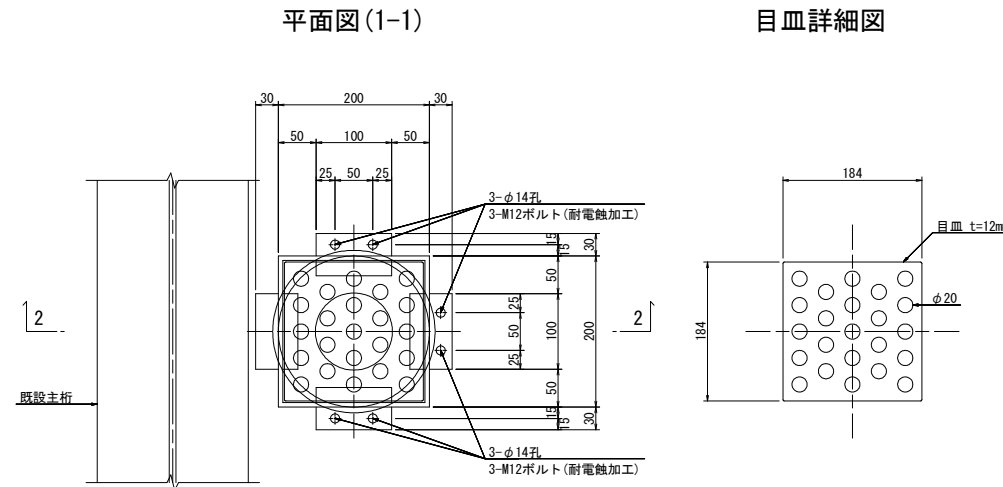
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野都藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 排水工詳細図(1/2)
縮尺	S=1:20 図面番号 12 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

藍住町横断歩道橋 排水工詳細図(2/2) S=1:5

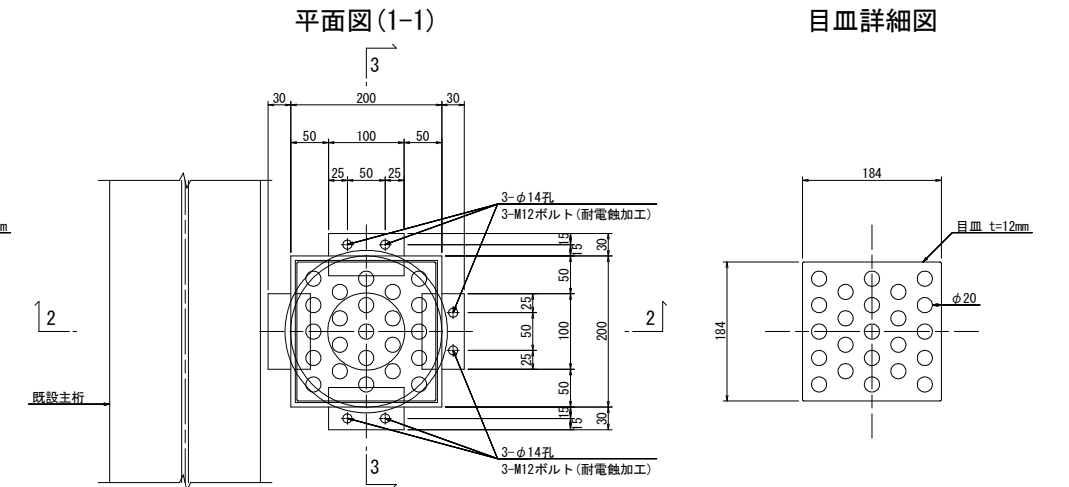
1号排水樹
(ステンレス排水樹)



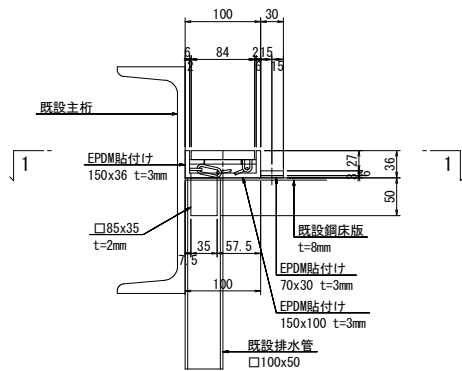
2号排水樹
(ステンレス排水樹)



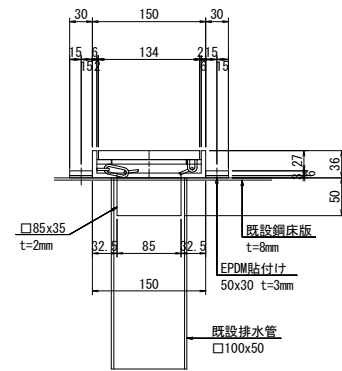
3号排水樹
(ステンレス排水樹)



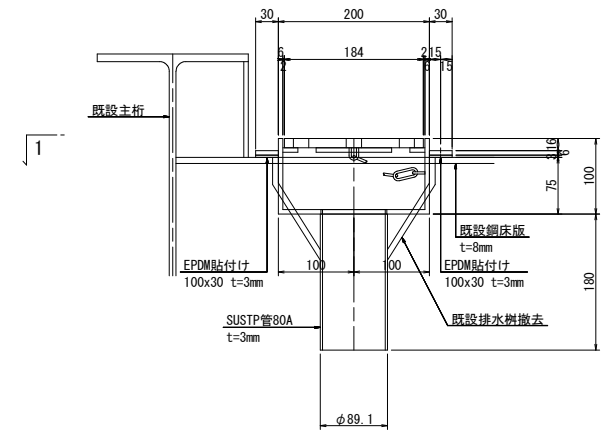
断面図(2-2)



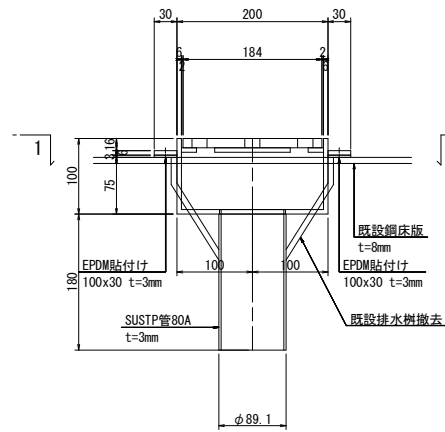
断面図(3-3)



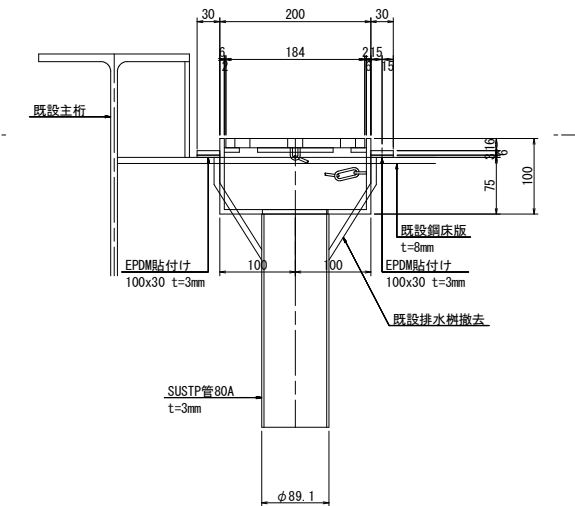
断面図(2-2)



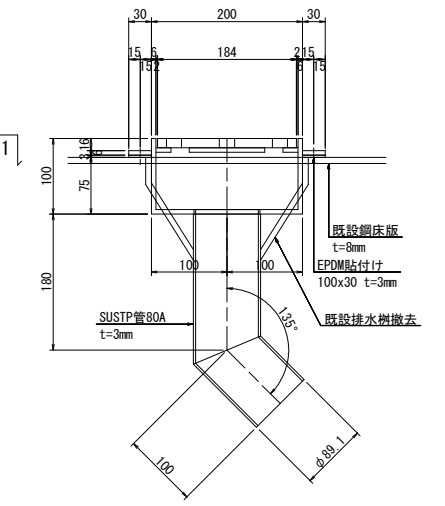
断面図(3-3)



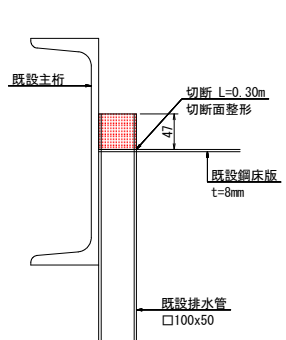
断面図(2-2)



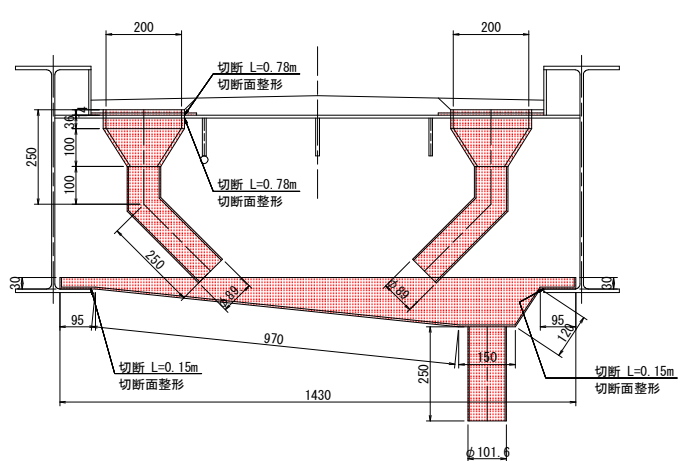
断面図(3-3)



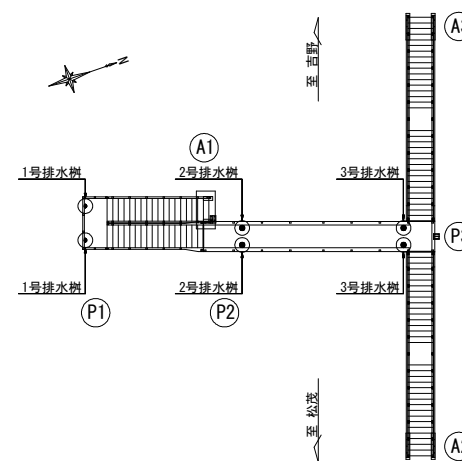
既設排水樹断面図
(1号排水樹)



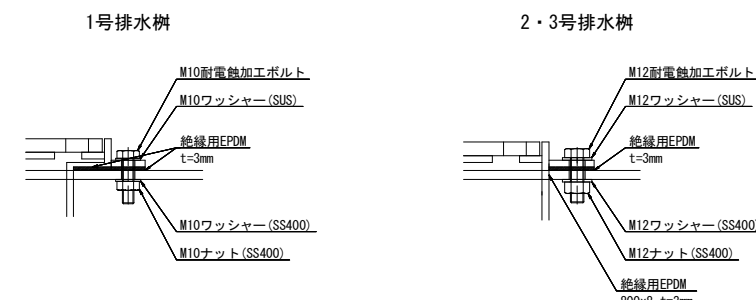
既設排水樹断面図 S=1:10
(2号排水樹、3号排水樹)



位置図 S=1:200



鋼床版接続図(参考図)



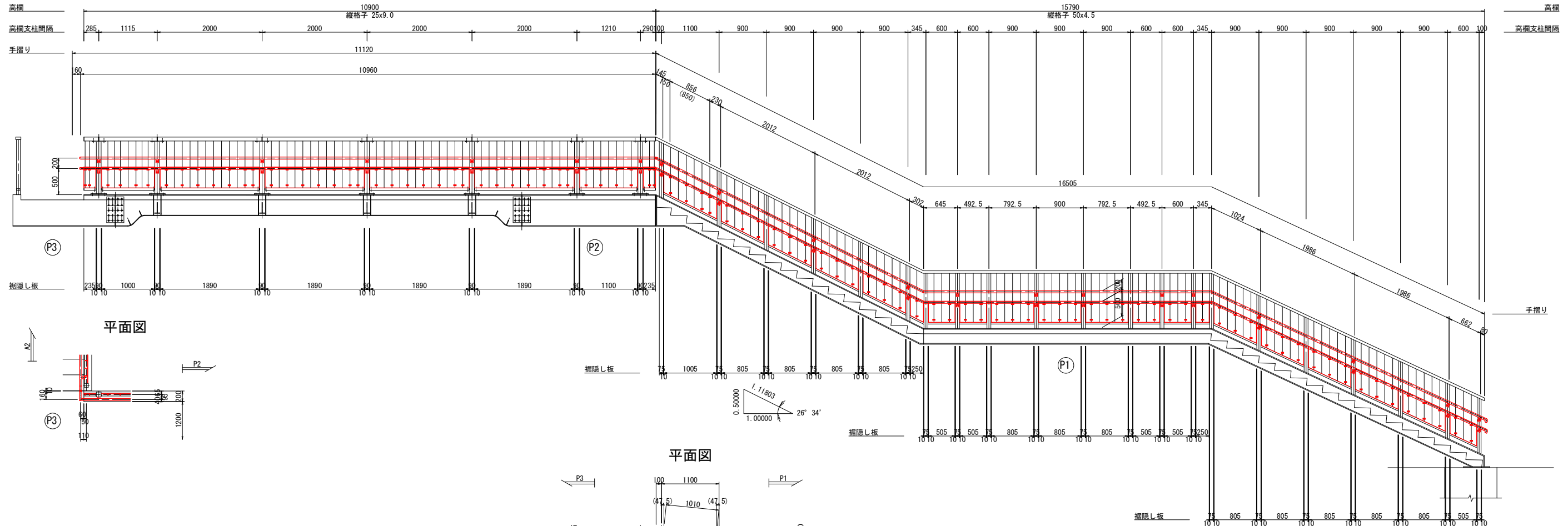
- 注記)
1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
 2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
 3. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
 4. ステンレス鋼材と既設鋼材が接する面は、絶縁用EPDMを貼り付けること。
 5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

実施設計図面

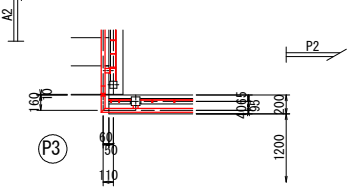
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 排水工詳細図(2/2)
縮尺	S=1:5 図面番号 13 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(1/6) S=1:40

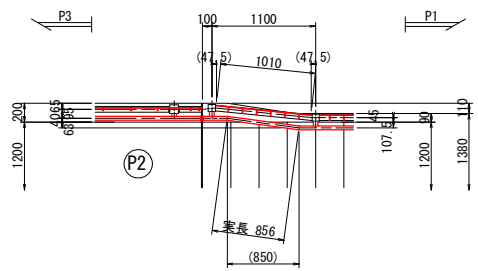
側面図(1-1)



平面図

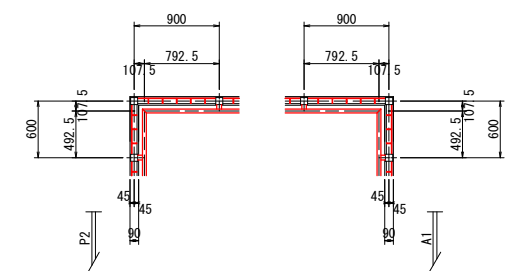


平面図

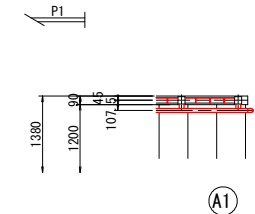


注記
()内数値は姿図上の斜長を示す。

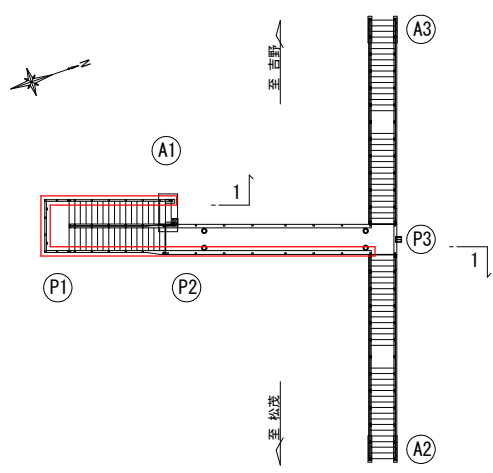
平面図



平面図



位置図 S=1:200

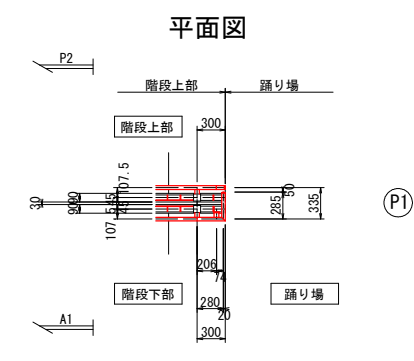
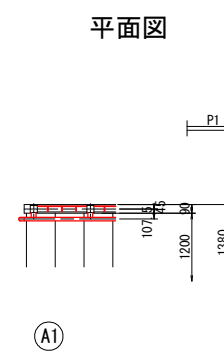
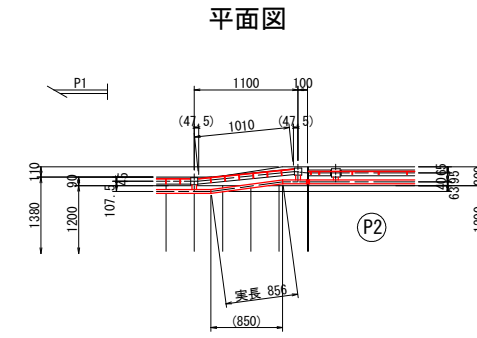
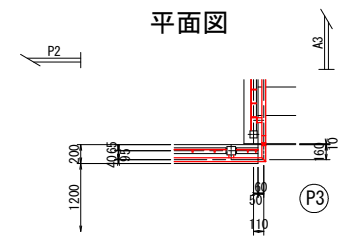
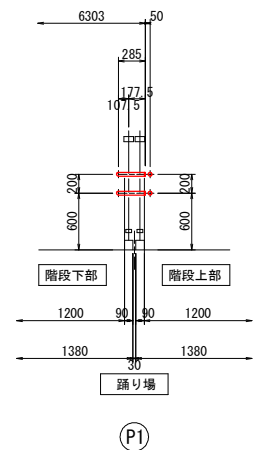
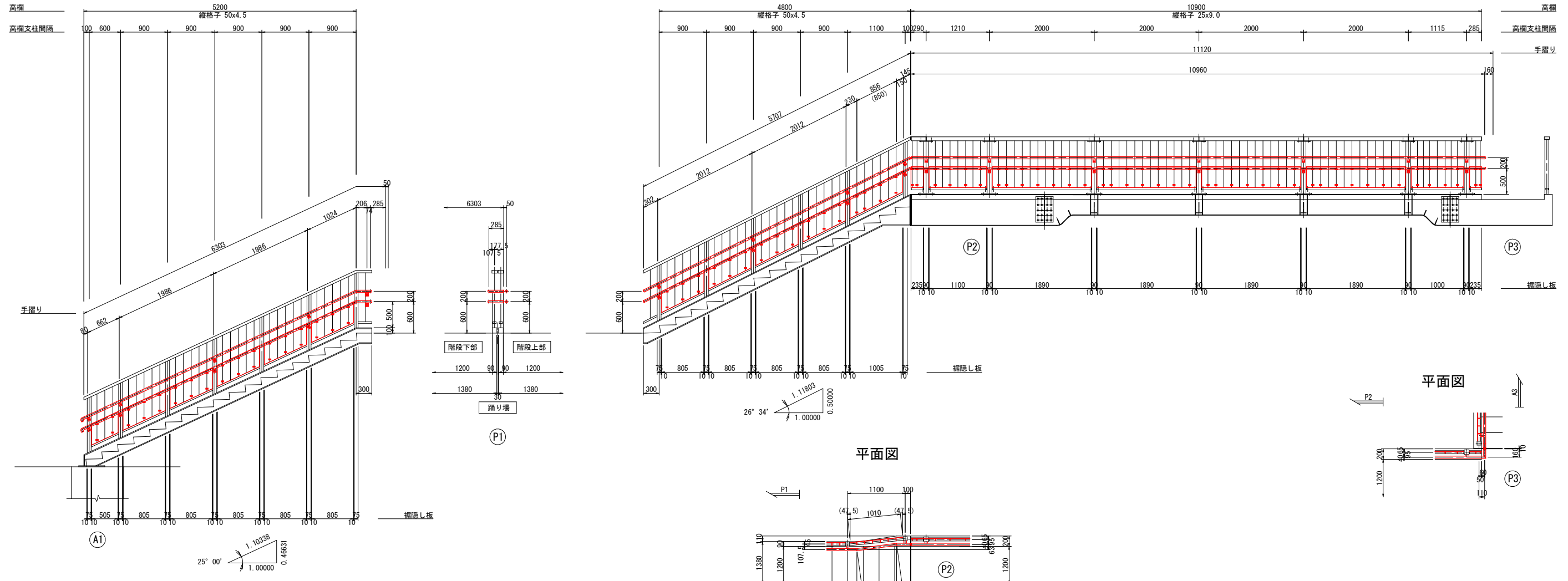


実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(1/6)		
縮尺	S=1:40	図面番号	14 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

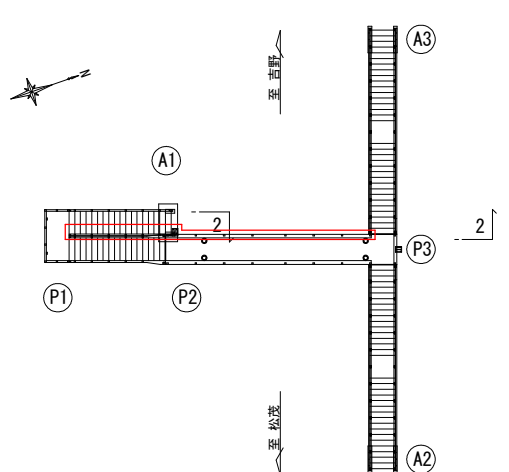
藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(2/6) S=1:40

側面図(2-2)



注記
()内数値は姿図上の斜長を示す。

位置図 S=1:200

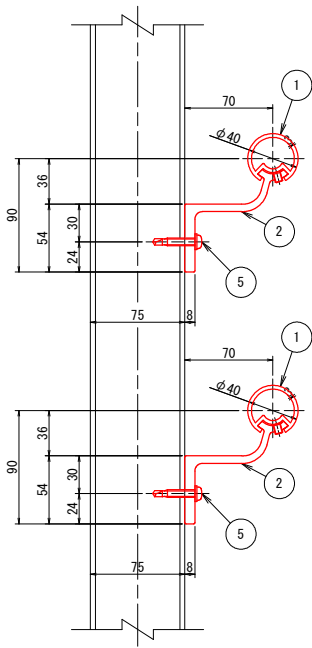


実施設計図面	
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事
路線名等	松茂吉野線
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)
図面名	藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(2/6)
縮尺	S=1:40 図面番号 15 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

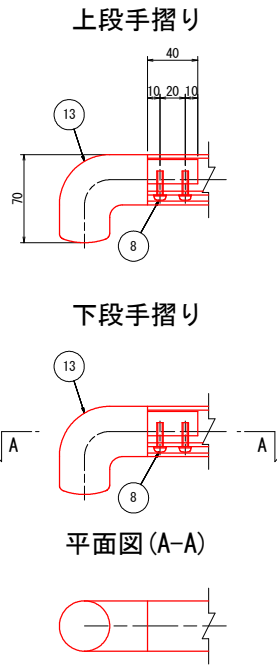
藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(5/6)

手摺組立詳細図 S=1:3
(表面処理: シルバーアルマイト)

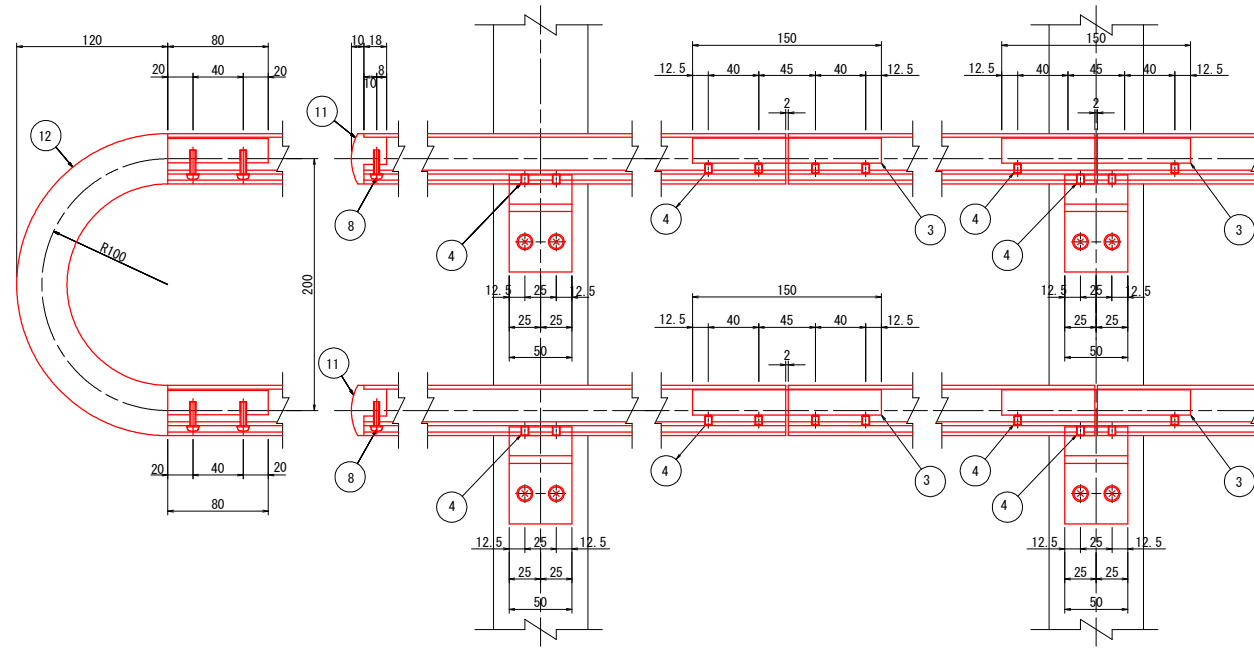
高欄支柱取付部



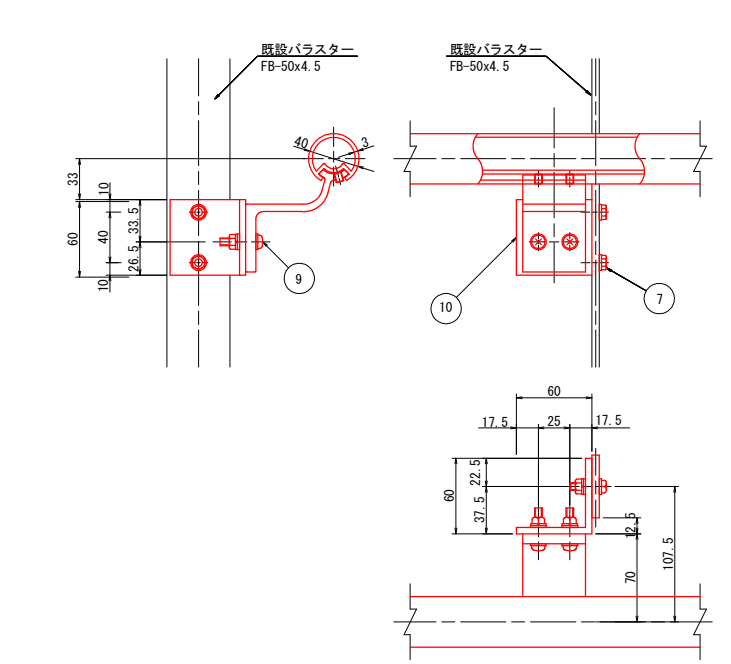
A1橋台端部



A2・A3橋台端部



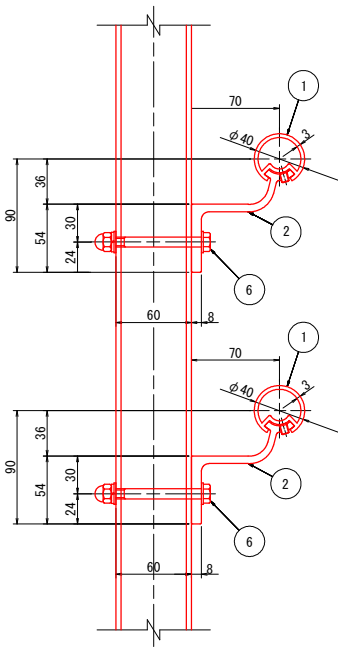
継手部



特殊取付部

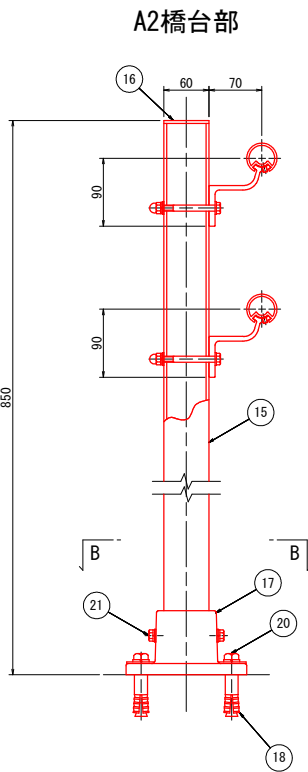
注: エンドキャップは下向きで設置のこと。

単独支柱取付部

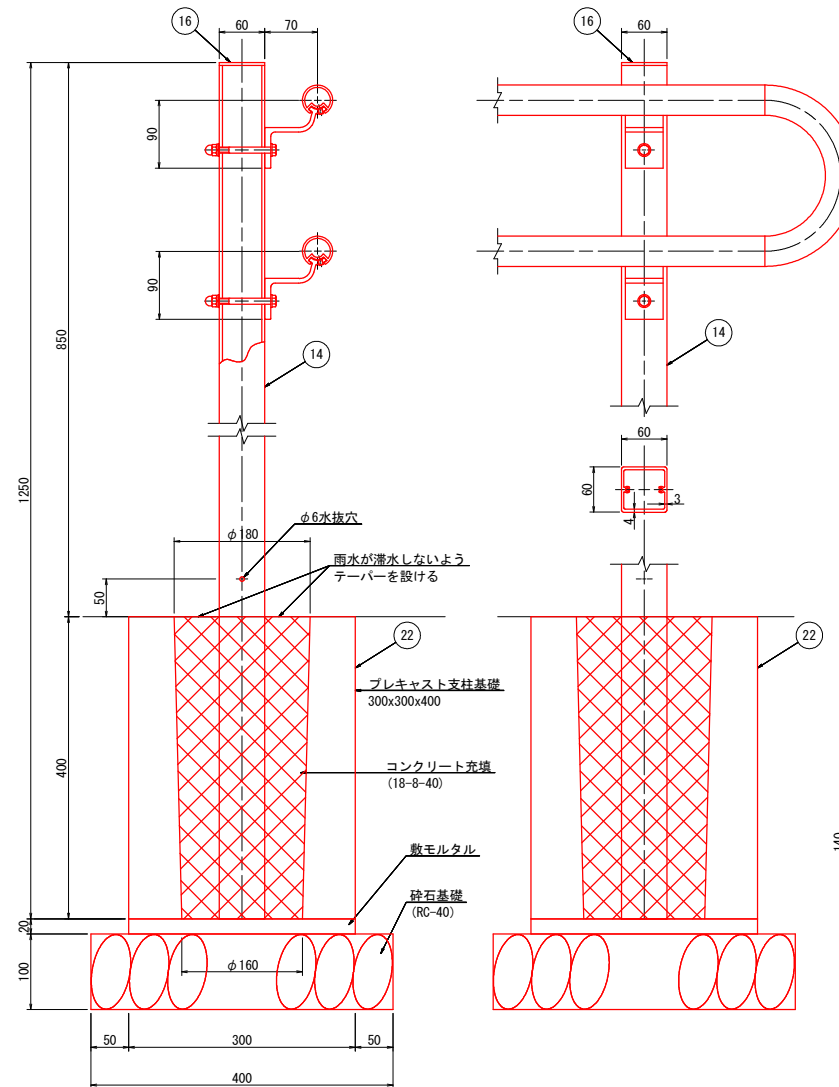


単独手摺支柱詳細図 S=1:5

注: 支柱高さ及び定着方法は、現場実測後決定のこと。



A3橋台部

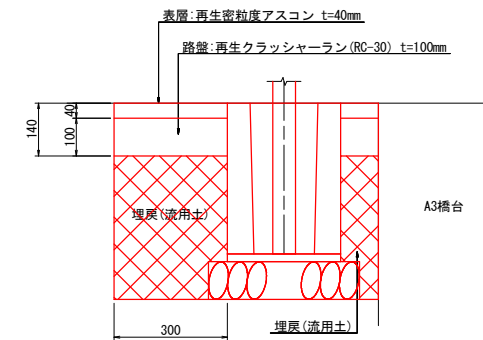


材料表

記号	名称	寸法	材質	備考
1	手摺パイプ	φ40x3	A6063S-T5	
2	ブラケット	φ40用	A6063S-T5	
3	ジョイントスリーブ	φ32x150	A6063S-T5	
4	六角穴付止めねじ	M6x8	SUSXM7	
5	ドリルねじ	M6x35	SUS410	W 付
6	六角ボルト	M8x80	SUS304	袋N, W(2), SW 付
7	六角ボルト	M6x25	SUS304	N, W(2), SW 付
8	丸小ねじ	M5x20	SUSXM7	W 付
9	丸小ねじ	M6x30	SUSXM7	N, W(2), SW 付
10	取付金具	60x60x5	A6063S-T5	
11	エンドキャップ	φ40用	AC4A-F	
12	エンドキャップ	φ40用	AC4A-F	
13	エンドキャップ	φ40用	AC4A-F	
14	支柱	60x60x3/4	A6061S-T6	
15	支柱	60x60x3/4	A6061S-T6	
16	支柱上蓋	60x60x4	A5052P	
17	ベースボックス	160x160x15	AC7A-F	
18	ホールインアンカー	M12 用(L=50)	SUS304	
19	板ナット	10x20(L=50)	A6063S-T5	
20	六角ボルト	M12x35	SUS304	W, SW 付
21	六角ボルト	M8x30	SUS304	W, SW 付
22	プレキャスト支柱基礎	300x300x400		

注) Nはナット、Wはワッシャー、SWはスプリングワッシャーを示す。

土工根拠図 S=1:10

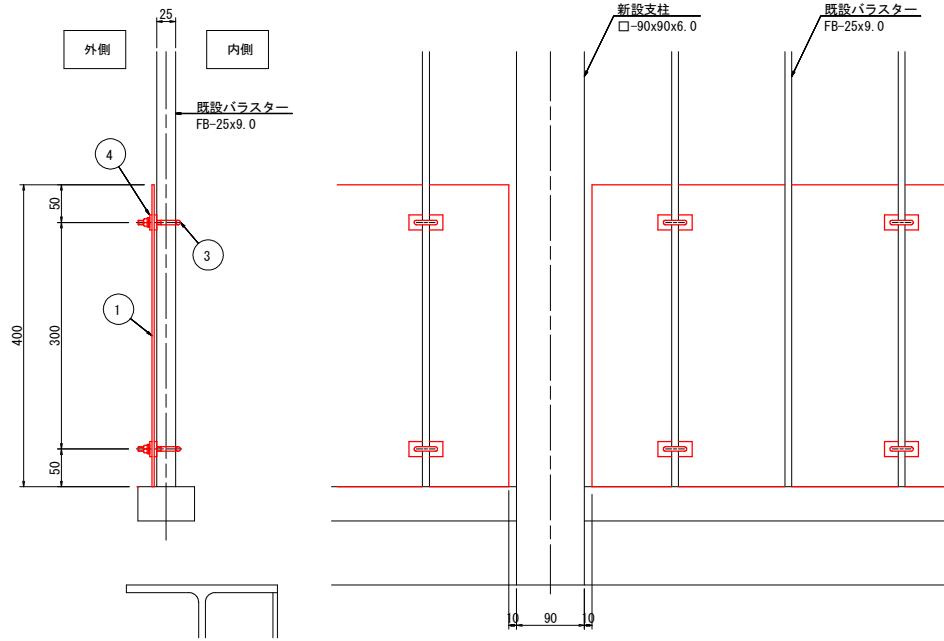


実施設計図面

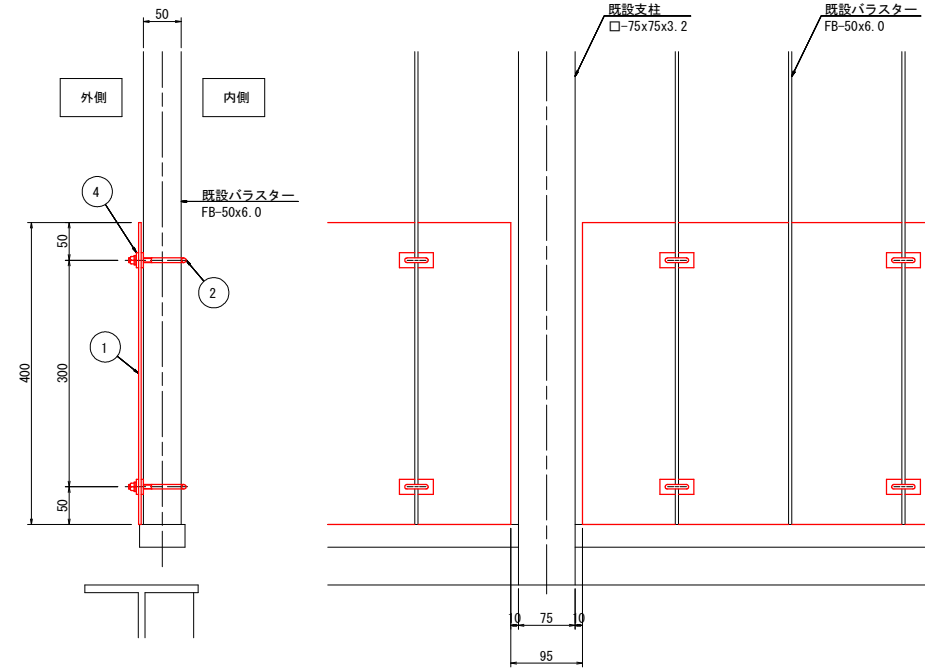
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(5/6)		
縮尺	S=1:3	図面番号	18 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(6/6)

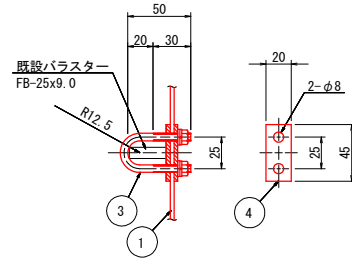
横断部裾隠し板詳細図 S=1:5



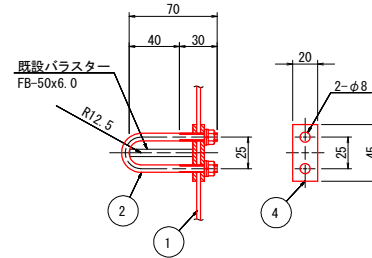
階段部裾隠し板詳細図 S=1:5



横断部Uボルト詳細図 S=1:3



階段部Uボルト詳細図 S=1:3



材料表

記号	名称	寸法	材質	備考
1	裾隠し板	t=3	ポリカーボネート	
2	Uボルト	M6 (FB-50x6.0用)	SUS304	N(2), W(2), SW(2) 付
3	Uボルト	M6 (FB-25x9.0用)	SUS304	N(2), W(2), SW(2) 付
4	角座金	20x45x3	SUS304	

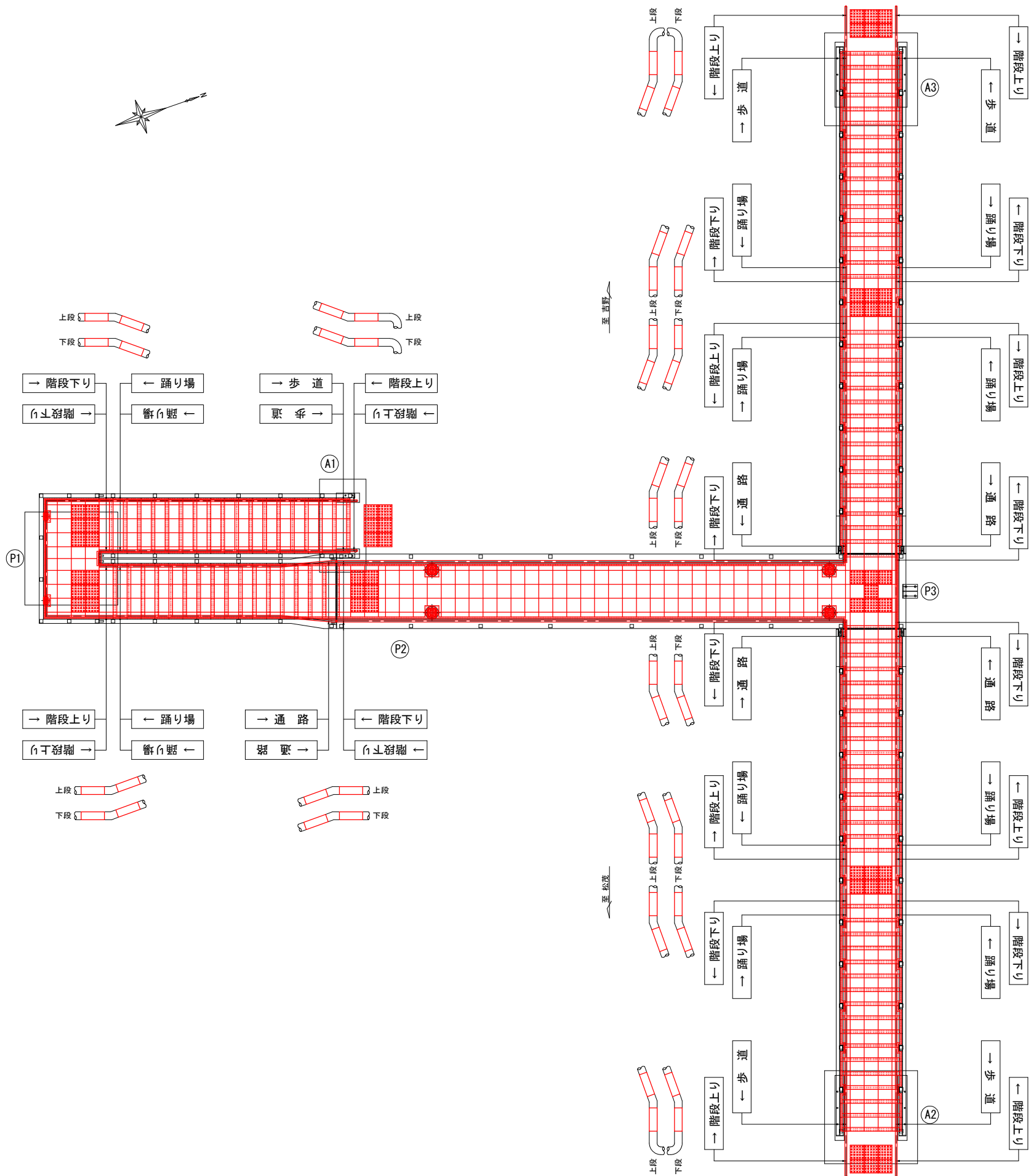
注) Nはナット、Wはワッシャー、SWはスプリングワッシャーを示す。

実施設計図面

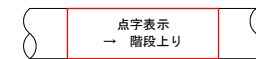
工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 手摺り及び裾隠し板詳細図(6/6)		
縮尺	図示	図面番号	19 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

藍住町横断歩道橋 バリアフリー対策工詳細図 S=1:50
(手摺り用点字標示板詳細図)

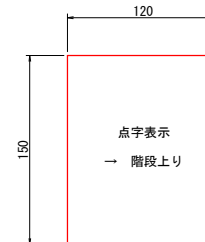
平面図



手摺り用点字標示板 S=1:3



(150x120x0.1mm ポリカーボネート製)



タイプ	数量
← 階段上り	12 枚
→ 階段上り	12 枚
← 踊り場	12 枚
→ 踊り場	12 枚
← 通路	6 枚
→ 通路	6 枚
← 階段下り	12 枚
→ 階段下り	12 枚
← 歩道	6 枚
→ 歩道	6 枚

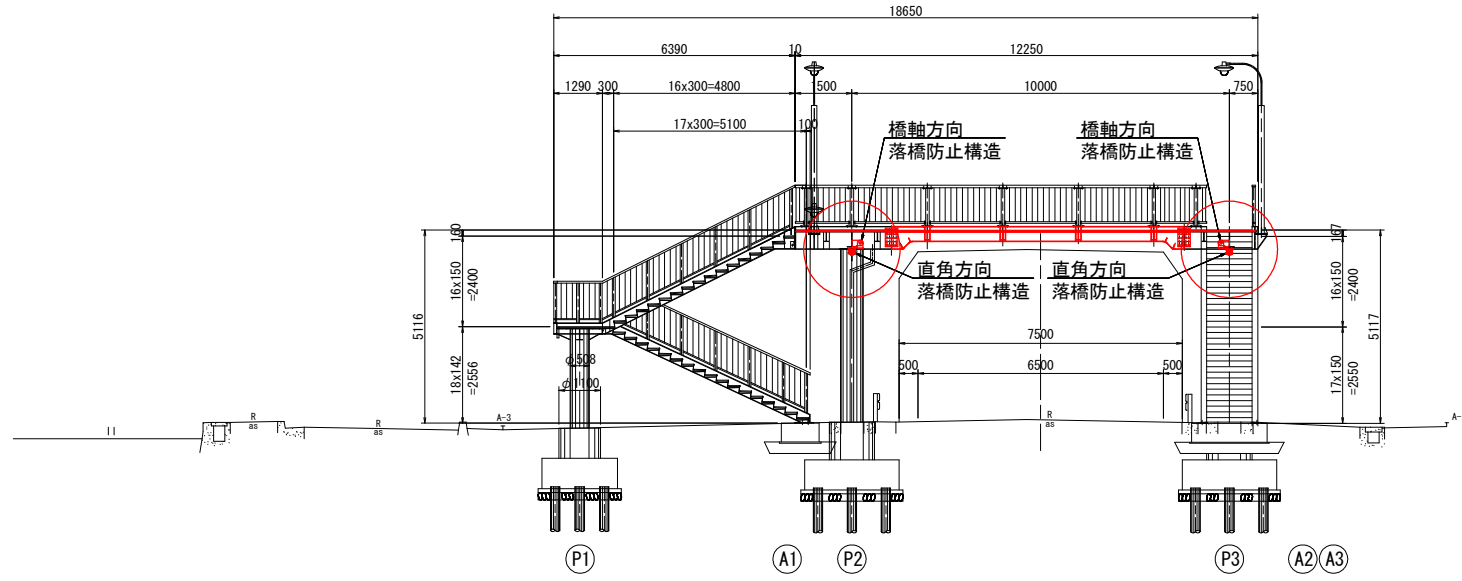
実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木 (藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 バリアフリー対策工詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	20 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

注記
手摺り用点字標示板は、上段・下段共に設置すること。

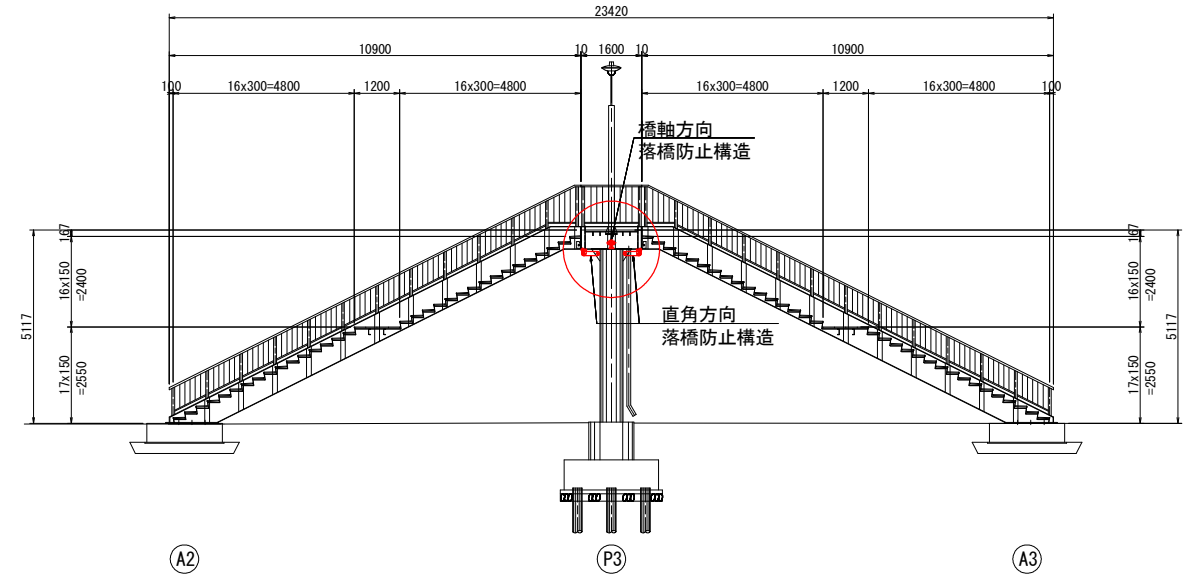
藍住町横断歩道橋 耐震計画一般図 S=1:100

側面図(1-1)



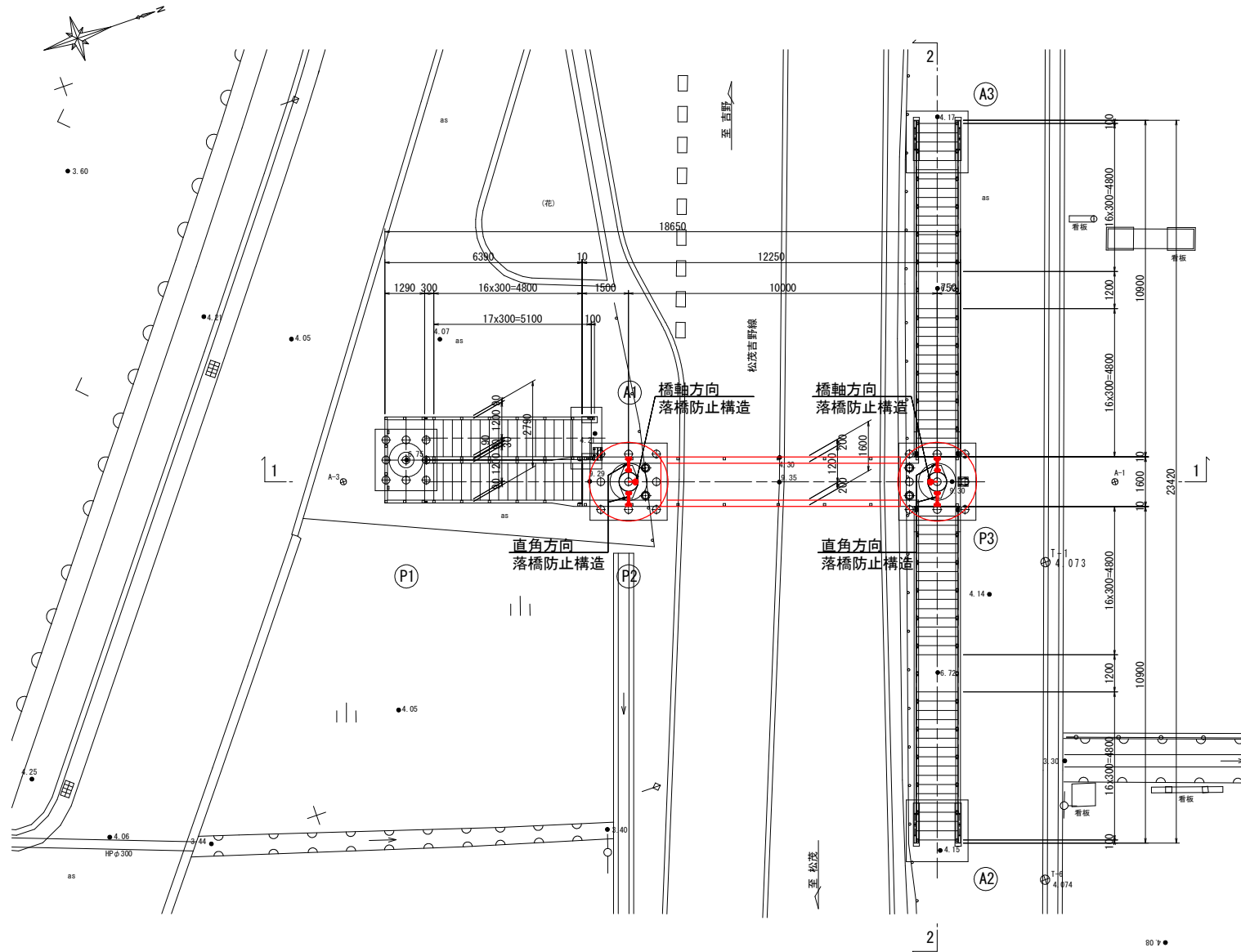
DL=-2.000

側面図(2-2)

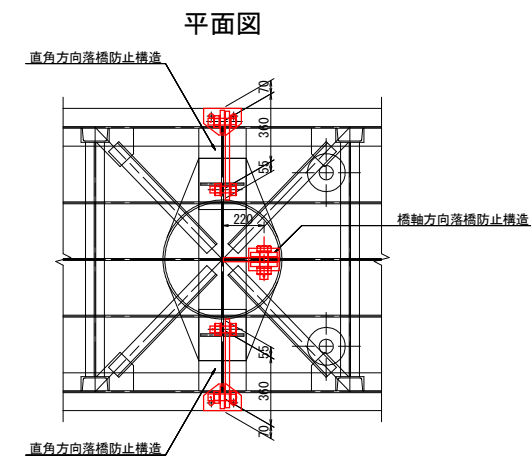
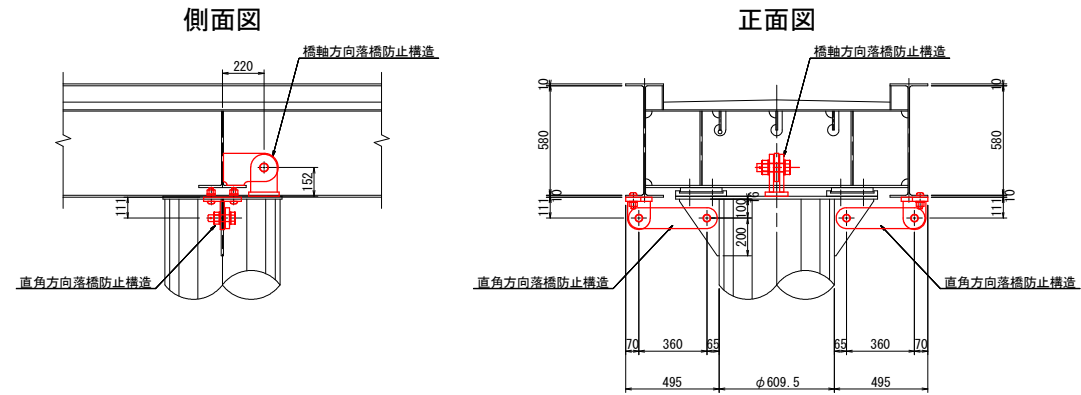


DL=-2.000

平面図



落橋防止構造配置図 S=1:20



落橋防止構造部材 塗装仕様 C-5塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内
	プライマー	無機ジンクリッチプライマー	160	15
	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		~6ヶ月
橋梁製作工場	防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75
	ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160	-
	下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120
	中塗	フッ素樹脂塗料用中塗	170	30
	上塗	フッ素樹脂塗料上塗	140	25

注1: 使用量はスプレーの場合を示す。
 注2: プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
 注3: 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

P2・P3橋脚 落橋防止システム構成装置一覧表

装置名称	型式	規格	数量
橋軸方向落橋防止構造	ピン式連結板	t=22mm(SM400), B.N M42	2箇所 x 1基
橋軸直角方向落橋防止構造	ピン式連結板	t=22mm(SM400), B.N M36	2箇所 x 2基

実施設計図面

工事名	R3徳土 松茂吉野線 藍・笠木 橋梁修繕工事		
路線名等	松茂吉野線		
工事箇所	板野郡藍住町笠木(藍住町横断歩道橋)		
図面名	藍住町横断歩道橋 耐震計画一般図		
縮尺	S=1:100	図面番号	21 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

注記)

1. 落橋防止構造の寸法は、現地にて取付部の実測後決定のこと。
2. 図面と既設寸法に差異がある場合は適宜形状変更のこと。
3. 固定ブラケットの寸法が変更になる場合は、構造の再計算を行い部材の応力度に問題がないことを検証のこと。
4. 現場溶接箇所は、C-5塗装系が適用できないため、現場塗装にて仕上げを行うこと。

